

土地分類基本調査簿（国土調査）認証第 28 号

土 じ よ う 説 明 書

津 山 西 部

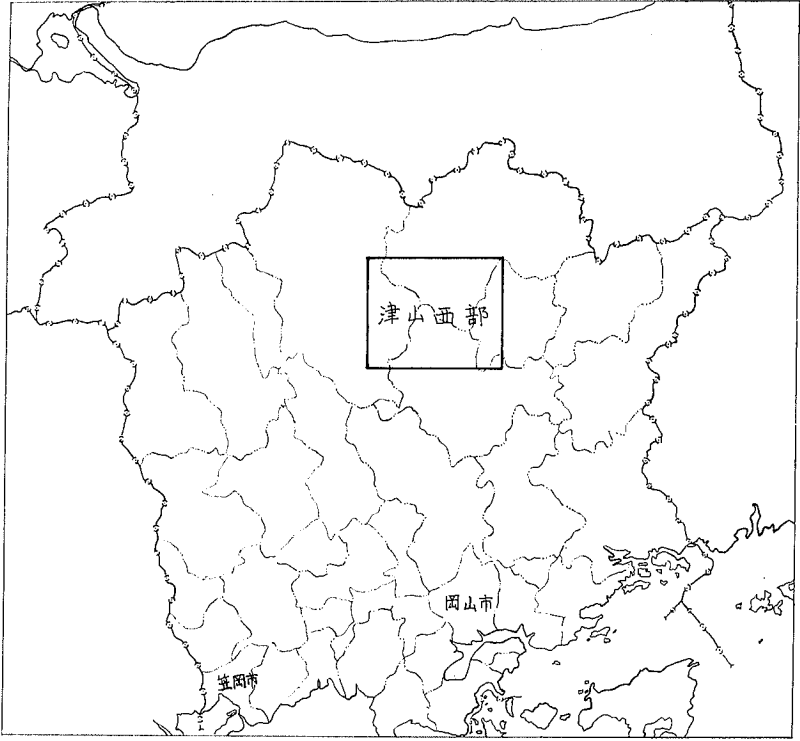
5 万 分 1 の 1

国 土 調 査

経 済 企 画 庁

1 9 6 2

位置图



目 次

I. 地域の概説	1
I. 1. 位置, 行政区界	1
I. 2. 交通及び産業	3
I. 3. 気 候	4
I. 4. 地 形, 地 質	4
I. 5. 土 地 利 用	5
II. 土じよう概説	6
II. 1. 既往の土じよう調査	6
II. 2. 土じよう調査の方法	6
III. 土じよう各論	8
III. 1. 山地, 丘陵地地域の土じよう	8
III. 1. 1. 概 説	8
III. 1. 2. 土じよう各説	16
III. 1. 2. 1. 矢倉山土じよう	16
III. 1. 2. 2. 摺鉢山土じよう	17
III. 1. 2. 3. 森上山土じよう	18
III. 1. 2. 4. 貴布禰土じよう	19
III. 1. 2. 5. 佐良山土じよう	20
III. 1. 2. 6. 神楽尾山土じよう	22
III. 1. 2. 7. 二上山土じよう	24
III. 2. 低地地域の土じよう	26
III. 2. 1. 概 説	26
III. 2. 2. 土じよう各説	33
III. 2. 2. 1. 布原土じよう	33
III. 2. 2. 2. 久米土じよう	35
III. 2. 2. 3. 作楽土じよう	36

III. 2. 2. 4. 田邑土じょう	38
III. 2. 2. 5. 院庄土じょう	39
III. 2. 2. 6. 河辺土じょう	42
III. 2. 2. 7. 円宗寺土じょう	43
III. 3. 代表地点土じょうの断面形態及び理化学分析成績	46
III. 3. 1. 代表地点土じょうの断面図	別紙
III. 3. 2. 代表地点土じょうの断面形態	46
III. 3. 3. 代表地点土じょうの分析成績	82
IV. 資料及び統計	90
津山西部土じょう図	
津山西部土じょう特性一覧表	

1 : 50,000 土じょう

説明書

津山西部

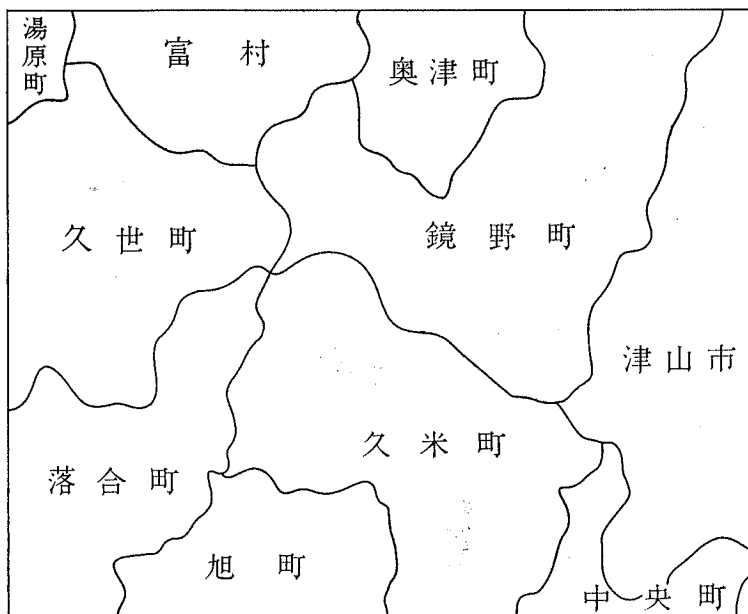
農林省林業試験場技官	竹原秀雄
農林省農業技術研究所技官	小山正忠
岡山県林業試験場技師	上野善弘
岡山県農業試験場技師	大森正

I 地域の概況

I. 1. 位置, 行政区界

位置：「津山西部」図幅は、岡山県の中央よりやや北東に位し、図幅東南部に津山市がある（第1図）。図幅の経緯度は、東経 $133^{\circ}45'10''4$ ～ $134^{\circ}0'10''4$ 、北緯 $35^{\circ}0'$ ～

第1図 市町村界図



35°10'である。図幅全域の面積は、422.5 km²である。

行政区界：この図葉内の行政区界は、1市8町1村に跨り（第1表）近年数次に亘る町村合併の結果大面積を占める町村が多くなった。県下三大都市の一つである津山市は、人口81,481人（昭和35年3月31日現在）、その総面積185.64 km²であるが本図幅内では3.1 km²を占めている。その他主な市街地としては、鏡野町、落合町がある。各市町村別の人口、その他概況を述べれば第2表のとおりである。

第1表 市町村界の關係

新市町村名 (昭和36年1月1日現在)		旧市町村名 (昭和30年4月1日現在)	旧市町村名 (昭和29年4月1日現在)
津山市		勝田郡勝北町の一部 櫛地区 勝田郡勝央町の一部 池ヶ原、堂尾を編入	苫田郡田邑、一宮、 高田、高倉、神庭、 高野村 勝田郡河辺、大崎、広野、滝 尾村の10ヶ町村を編入。
苫田郡	鏡野町	郷村編入 (昭和30年1月1日) 苫田村、羽出村、奥津村	芳野村、大野村、小田村、中 谷村、香々美南町、香々美北 村 (昭和27年11月10日) 久田村、泉村、苫田村
久米郡	久米町	(昭和3年4月1日) 大井町、倭文村、久米村 (昭和30年1月1日)	(昭和30年3月31日) (昭和27年8月1日)
	中央町	加美町 打穴村 三保村 大井和村 (昭和30年1月1日)	大井和西村 和田北村 大井和東村 雨山寺村 角石村 祖母境村 大井和村
郡	旭町		西川村 井和村 倭文西村 (昭和28年4月1日) 御津郡江与味の一部を合併

新市町村名 (昭和36年1月1日現在)		旧市町村名 (昭和30年4月1日現在)	旧市町村名 (昭和29年4月1日現在)
真庭郡	落合町	落合町, 木山村, 美川村, 津田村, 河内村, 川東村	
	久世町	(昭和30年4月29日) 美和村を合併	
	湯原町	(昭和31年9月29日) 二川村を合併	

第2表 関係市町村の概況

市町村名	項目 調査年次	土地面積	世帯数 人口			農家数	耕地面積	山林面積	米実収高	商店数	工場数	生徒数
		平方メートル	昭和35.3.31	昭和35.3.31	昭和35.3.31	戸	a	ha	年度	昭和33.7.1	昭和33.12.31	昭和35.5.
津山市		185.64	18,626	81,481	438.9	6,392	440,460	9,245	14,988	1,813	399	34,93
鏡野町		121.81	3,080	15,358	126.1	2,504	173,674	8,812	5,800	134	29	3,36
奥津町		132.30	1,313	6,408	48.4	947	60,462	12,059	1,781	84	9	1,46
富村		76.56	417	2,113	27.6	327	21,277	7,274	557	17	2	45
久米町		74.86	2,386	11,603	155.1	1,940	140,617	4,681	5,103	121	22	2,46
中央町		70.91	2,286	11,052	155.9	1,806	138,072	4,104	5,078	96	10	2,37
旭町		80.89	1,413	7,565	93.5	1,123	86,901	5,705	2,310	94	6	1,78
落合町		150.06	4,373	22,277	184.5	3,087	206,558	11,224	6,260	327	58	5,35
久世町		74.82	2,719	13,139	169.8	1,260	73,782	6,164	2,489	263	57	3,15
湯原町		142.26	1,503	7,088	49.8	891	65,382	12,616	1,806	117	16	1,60

I. 2. 交通及び産業

交通：交通網の状況は、鉄道についてみれば、図幅のほぼ中央よりやや南よりを姫新線が東西に縦貫し、津山線（岡山～津山）は図幅東南部を南北にとおっている。

道路は津山～米子を結ぶ2級国道津山米子線が姫新線に沿って東西に走行し、岡山、津山、鳥取を結ぶ2級国道の岡山～鳥取線は、図幅東南部を津山線に沿って北上し、津山を経て図幅外の東津山、江見、大原と経て鳥取に至る。院庄より分岐した主要地

方道である院庄一倉吉線は、鏡野町、奥津町を経て図幅外の上斉原村を経て鳥取県倉吉に至る。また主要道路である岡山一勝山線は、図幅西南部の旭川沿いに北上し久世町を経て西進し図幅外の勝山町に至る。その他一般県道としては、津山と西川を結ぶ、津山一西川線及び久世町と富村を結ぶ線などがある。これら主幹道路を基点として無数の町村道が四方に発達しているが、その中員、整備状態は必ずしも良好なものとはいえない現状である。

これらの国道、県道及び主要町村道には、ほとんど定期バスが運行しており、岡山～津山間、津山～奥津間、津山～勝山間、岡山～勝山間は特にバスの運行回数が多い。

産業：大部分が山岳地でその一部には、スギ、ヒノキの造林が行なわれ、亦薪炭が生産され、その集散は津山が中心となつている。吉井川流域の水田及び津山北部の丘陵地畑地は農業の中心となつているが、おおむね津山を中心とする地方需要を充す程度であつて特産物は見られない。津山市は旧城下町であつて工業の特記すべきものは起つていない。

I. 3. 気 候

津山に於ける年平均気温は 13.5°C 、降水量は $1,525\text{mm}$ で、岡山にくらべると気温は大差がないが降水量はかなり多い。降水量は夏に多く、冬に少いことから表日本の気候の影響を受けているものと判断される。しかしこの図幅から僅かに離れた奥津の気候はかなり裏日本の気候の特徴に近いものようである。

I. 4. 地 形、地 質

図幅内河川の主要なものとしては東部に吉井川、西部に旭川がある。吉井川はその源を中国山脈の上斉原村遠藤に発し、上斉原村の花崗岩地帯を流下し、奥津町を経て図幅内の旧苔田村の中央より南下して鏡野町小座で香々美川を併合し、津山市院庄に至り久米川と合流して津山市街地を東進し、図幅外に出て柵原町周匝で吉野川を併流し、西大寺港より瀬戸内海に流入する。その流路延長 131.1km 、流域面積 $2,057.15$ 平方料に及ぶ。

旭川はその源を吉井川と同じく中国山脈の蒜山より発し、湯原町を経て勝山町に至

り、東流して久世町より図幅内西端を南下し、県営旭川ダムを通り、岡山市街地の東端を南下して岡山港より瀬戸内海に流入する。その流路延長 158,75 km, 流域面積 1,637.42 平方キロに及ぶ。昭和 9 年 9 月 21 日西日本一帯を襲った颱風に伴う豪雨により両河川共、橋梁、道路の流失、堤防の決壊、農地、林地の埋没、崩壊等大災害を与えた。

これらの主要河川に沿ってやや巾の広い沖積地が発達し、水田として利用されているが、その面積はせまい。

津山市街地の北部は、第 3 紀層、中生層、古生層等からなる丘陵性の地域で、主として畑地として利用されている。この丘陵地の北部および西部は大部分が粘板岩、黒色准片岩、緑色准片岩等からなる古生層の山地である。標高はほぼ 650~750m で特に高い山はないが地形はやや急峻である。その北部は花崗岩に接する。

久世、津山を結ぶ線（国鉄姫新線）より南は、標高がやや低く 400~550m の山地である。その東部は石英粗面岩からなる山地であり、西部は古生層からなる山地で、その間には皿川をはさみ花崗岩からなる丘陵性の地域がある。森上山を中心とする西半の古生層の地域にはほぼ 450m 以上の高さに小起伏の準平原状の地域がある。この山塊の北斜面で久米川に沿う山脚部には、標高ほぼ 200m の高さに礫層がみられる。その他蛇紋岩、安山岩、等が局部的にみられる。この地域には多数の断層が発達するが津山北部丘陵地の北縁や、皿川をはさむ丘陵地等、津山盆地とこれをかこむ山岳地は、主として断層によつて境せられ、地形の特徴は比較的明瞭に区別される。

I. 5. 土 地 利 用

図幅上部中央より南下する吉井川及び図幅西南部を占める旭川の流域に沿う平坦地は、河川敷を除き古くから水田として利用されている。盆地内の緩傾斜地は畑として利用され、主として野菜類等が栽培されている。

津山市及びその西部の平野は、津山盆地の西端にあたり部落が発達している。この平野は北部は柵形山、西北部は摺鉢山、東南部は森上山によつて囲まれていて、図幅の大部分は急傾斜の山岳地である。このため図幅のほぼ 78% は林地である。図幅東端は津山市の市街地の一部であつてその面積は 3.1km² である。図幅内の主要な市町村の地目別面積を示せば第 3 表のとおりである。

第3表 関係市町村面積一覽

町	村	名	全 面 積	耕 地 面 積	山 林 面 積
旭		町	2,948.5	62.0	2,886.5
落	合	町	4,468.5	1,142.6	3,325.9
久	世	町	5,545.5	793.1	4,752.4
奥	津	町	2,225.5	305.7	1,919.8
富		村	2,974.5	303.7	2,670.8
湯	原	町	472.0	0	472.0
久	米	町	7,043.5	1,570.0	5,473.5
津	山	市	6,604.0	2,015.5	4,588.5
鏡	野	町	8,376.0	2,331.2	6,044.8
中	央	町	1,572.0	461.4	1,110.6
柵	原	町	20.0	0	20.0
	計		42,250.0	8,985.2	33,264.8

II. 土 じ よ う 概 説

II. 1. 既往の土じよう調査

津山西部図幅全域を含む土じよう調査関係報告書として、1921年以降1938年に至る間、岡山県農事試験場の施肥標準調査が実施され、1941年その一部津山市、苫田郡の調査成績が取まとめられている。又1954年岡山県刊行の農業図説の地質及び土性説明書がある。

II. 2. 土じよう調査の方法

この土じよう調査は国土調査法第3条第2項に基き定められた、土地分類基本調査の土じよう調査作業規程準則に基き実施したもので、概査（予察調査）、精査（試坑、分布、附帯調査等）を行い、次いで所要の分析作業を実施の上、整理取まとめを行った。

概査

昭和34年9月、土じよう調査関係者の協議を行い、引続いて全域の踏査を行い、次の二班に分けて精査を行うこととした。

山地班—岡山県林業試験場（山林地域）

耕地班—岡山県立農業試験場（水田、畑地域）

精査

山地班は岡山県林業試験場係員が、農林省林業試験場係官の指導を得て、昭和35年2月までの間に断面調査、分布調査ならびに附帯調査等、精査を行った。

耕地班は、岡山県立農業試験場係員を二班に分ち、津山、鏡野、奥津、久米、久米南、旭、落合、勝山の各農業改良普及所係員ならびに、各市町村役場、管下単位農業協同組合の係員の応援、立会を得て昭和35年3月までに精査を行った。

分析作業

断面調査に於て採取した、土じよう試料は、精査の結果により、仮の土じよう統を設定し、この各統から2～3点を選出し、分析項目、分析方法を統一して分析を行った。分析方法の概要は次の通りである。

粒径組成；国際土じよう学会法により分散剤としてヘキサメタリン酸ソーダを用いた。

容積量；山中式容積量測定装置による。

最大容水量；ヒルガード法に準じ山中の方法による。

全炭素；チューリン法と小坂・本田式湿式燃焼法。

全窒素；キエルダール法。

水素イオン濃度；1：2.5の水およびCl⁻N—KCl浸液に就いてガラス電極法による。

置換容量；シヨールンベルガー法を半微量化した原田法。

置換酸度；N—kCl浸出液の0.1NaOH滴定法。

置換性石灰；塩基置換容量測定溶液についてE. D. T. A.による滴定。

リン酸吸収係数；PH 7.0, 2.5%リン酸アンモン溶液を加えて吸収量を測定

整理作業

現地調査及び分析作業の終了後各野帳を整理し、成果の再検討を行い、各班別に仮土じよう図を作製してそれを持寄り統についての見解を統一し、設色、記号、界線等

の調整を行った。この間補足調査も必要に応じて行い、さらに地形、表層地質調査の成果を参照して土じよう図の完成をみた。

Ⅲ. 土 じ よ う 各 論

Ⅲ. 1. 山地、丘陵地地域の土じよう

Ⅲ. 1. 1. 概 説

地域：この地域は図幅東部中央の沖積平野（津山盆地内の水田）を除く全部で、標高、起伏、傾斜等を勘案し、山岳地、中高地、低山性丘陵地に分けられる。さらに基岩を考慮すると地域内は柘形山（645.2m）・矢倉山（659.5m）・天山（765.8m）・若林山（483.9m）を中心とする古生層の矢倉山山地地区（図幅中央より東北部）、摺鉢山（879.0m）を中心とする花崗岩の摺鉢山山地地区（図幅西北部）、笹山（301m）佐良山（356m）・嵯峨山（288.7m）を中心とする石英粗面岩の中高地地区、森上山（566.7m）を中心とする古生層の中高地地区、津山市街地北部の神楽尾山（308.4m）を中心とする古生層・第3紀層の低山性丘陵地地区及び貴布禰神社を中心とする花崗岩の低山性丘陵地地区に分けられる。

地形、地質：図巾の北半を占める山地は、古生層の黒色及び緑色准片岩・粘板岩・石英准片岩並びにチャートを基岩とし、地形は急峻で基岩の露出地も各所に見られ、又大、中角礫を混えた土じようが多い。久世町台金屋の台地地帯や、茂の瀬の鞍部には厚さ15～30cm 程度の黒色の表土を有する土じようが僅かに分布している。この山地には、矢倉山・天ヶ山^{アマガ}・柘形山・入道山等がある。古生層地域の北部に接し摺鉢山から吉井川北端（奥津町箱）に亘る山地は花崗岩よりなつている。

矢倉山及び摺鉢山地区では、地形が急峻で尾根附近には基岩の露出地が多く、特に山生奥^{サンショウ}の花崗岩と古生層の接する附近では絶壁をなしている。両地区共一般に平衡斜面が多く山麓には風化岩屑が堆積して土層は深い。

津山市北部および姫新線沿線の丘陵地帯は、古生層の黒色・緑色准片岩・粘板岩・中性層及び第三紀層の砂岩、頁岩互層並びに第三紀層の礫岩、礫質砂岩層からなる。

この地域の中新統は起伏の多い山地間の凹所に堆積した浅海成層である。全般的に鈍頂の尾根を形づくり、10～20°前後の緩傾斜地が多く、地形の開析も進んでいない。

貴布禰神社を中心とする石英粗面岩並びに花崗岩地帯も同様に鈍頂の尾根で傾斜も緩かである。

森上山を中心とする中高地地区は、北半と同質の古生層からなつていて、360～560mの間にあり、起伏はやや小さく、特に400m以上には未開析の小起伏の地域が残されていて準平原状をなす。この地区では鈍頂の尾根が農耕地として利用され、それより下部の山腹斜面が森林として利用されている。

津山市南部の佐良山を中心とする山地は石英粗面岩からなる。起伏はやや小さく、凸形の斜面が多く、急斜面は少ない。

これらの地形、地質のちがいにしたがって各地区毎の土じようはかなり明瞭な特徴をもっている。なお、この地域では火山灰の堆積はほとんど認められない。

土地利用の現況：北部山岳地は主としてスギ、ヒノキの造林地（25％）アカマツ天然林及びクヌギ、コナラ、ザツを主とする薪炭林として利用され、丘陵地はアカマツ天然林、クヌギ、コナラ、ザツの薪炭林として利用されている。この地域内の林地は古くから薪炭林として伐採がくりかえされてをり、老令過熟の未利用天然林は全くない。

山岳地の斜面下部等で、スギ造林地内にはミツマタ等の栽培が行なわれた所が少くないが、最近ではほとんど行なわれていない。図巾北半の古生層山岳地では、かなり古い造林地が見られ、最近益々造林地が増加する傾向にあるが、南半はそれほどでない。スギ、ヒノキの造林地以外の林地の取扱いはやや粗放である。

津山市北部の新田・松原地区の丘陵地や、佐良山の畝・久米町稼塚・旭町当免・広末・北当地附近では尾根周辺がよく開墾され、麦、蔬菜の栽培が行なわれている。

果樹類の栽培は局部的に限られその面積も少い。

若林山を中心とする田川東村、旧河内村の一部では、局所的に採草地があり、又落葉落枝の採取が行なわれているところも見られる。主要な町村についての山地利用の状況を示せば第4表のとおりである。

第4表 津山西部地域樹種別面積表

(単位；町)

23森林区 (河内, 川東)

樹種	面積
スギ	140.73
ヒノキ	434.60
クロマツ	4.37
アカマツ	357.24
クスギ	44.89
ザツ	1,428.88
その他 { 針	0.21
{ 広	2.26
竹林	71.24
未立木地	0.16
採草地	521.96
計	3006.54

24森林区 (落合)

樹種	面積
スギ	17.74
ヒノキ	47.99
クロマツ	0.03
アカマツ	36.60
クスギ	20.71
ザツ	68.22
その他 { 針	0.09
{ 広	—
竹林	2.20
未立木地	0.02
採草地	85.51
計	279.11

22森林区 (久米, 旭町)

樹種	面積
スギ	73.97
ヒノキ	160.73
アカマツ	235.86
クスギ	28.54
ザツ	1742.93
その他 { 針	0.04
{ 広	2.89
竹林	109.30
未立木地	0.13
採草地	175.95
計	2530.34

21森林区 (久米, 久米町)

樹種	面積
スギ	105.16
ヒノキ	345.45
クロマツ	1.62
アカマツ	831.77
クスギ	14.29
ザツ	1809.77
その他 { 針	—
{ 広	9.06
竹林	86.96
未立木地	2.90
採草地	547.65
計	3754.63

42森林区, 43森林区 (津山市)

樹種	面積	面積
スギ	50.20	7.42
ヒノキ	100.40	165.12
アカマツ	272.51	1326.01
クロマツ		
クスギ	7.17	23.16
ナラその他広	222.31	828.13
その他	—	0.22
竹林	7.17	56.00
未立木地	—	2.96
採草地	57.38	217.82
計	717.14	2626.84

25森林区 (久世町)

樹種	面積
スギ	302.78
ヒノキ	812.47
アカマツ	151.19
クヌギ	329.70
ザツ	1794.14
その他 { 針	—
{ 広	5.73
竹林	41.17
未立木地	64.39
その他(採草)	396.31
計	3897.88

34森林区 (富村)

樹種	面積
スギ	241.32
ヒノキ	294.46
アカマツ	28.84
クヌギ	33.52
ザツ	1840.48
その他 { 針	5.49
{ 広	0.18
竹林	11.10
未立木地	2.53
その他(採草)	63.65
計	2521.57

37森林区 (奥津町)

樹種	面積
スギ	275.87
ヒノキ	314.20
スギ, ヒノキ	11.48
アカマツ	38.79
クヌギ	162.53
ナラ	26.34
クリ	0.08
その他 広	851.62
竹林	33.98
未立木地	26.27
特用樹	17.67
カラマツ	0.25
ケヤキ	1.17
カシ	0.38
採草地	114.59
計	1875.22

35森林区, 36森林区

樹種	面積	面積
スギ	128.67	225.73
ヒノキ	704.91	281.31
クロマツ	—	—
アカマツ	647.08	99.92
クヌギ	133.84	6.09
ザツ, ナラ	1671.19	892.19
その他 広		
その他 { 針	0.25	0.81
{ 広	46.86	3.71
竹林	69.83	41.23
未立木地	36.78	37.84
採草地	493.52	323.66
計	3932.93	1912.49

植生：北部森林地帯では、尾根附近にアカマツ、ネジキ、ウラジロノキ、ヤマハゼ、ソヨゴ、コナラ、ツツジ類、アセビなどが多く、山腹～山脚にはヒサカキ、クロモジ、タラノキ、ヌルデ、アオキ、テリハウツギ、サンシヨウ、チャ、イタドリ、フユイチゴ、リヨウメンシダ、クズ、カンスゲ、リュウノヒゲ、などが多い。

姫新線以南の山地や、低山性の丘陵地帯では山脚～尾根までアカマツ天然林となつていところが多く、その下木としてクヌギ、コナラ及びツツジ類、アセビ、ネジキ、ヤマハゼ、ナツハゼなどの乾性植物が多い。

矢倉山から入道山にかけての古生層黒色準片岩地帯ではスギ、ヒノキの人工造林の生育が極めてよいが、津山市北部の丘陵性古生層地帯や石英粗面岩地帯、低山性花崗岩地帯では人工造林の生育が不良である。

土じょうの特徴、分布

この地方の山地・丘陵地の土じょうは、火山灰の影響を受けることが少なく、おおむね基岩の風化物が土じょうの母材となつているものと考えられる。基岩のちがひによつて土じょうにはかなり明瞭な特徴が認められる。また、たとえば同じ花崗岩質岩石の風化物を母材とする土じょうのなかでも、摺鉢山を中心とする山地と貴布禰を中心とする丘陵地とでは土じょうの形態・性質がちがひ、古生層粘板岩の風化物を母材とする土じょうでも、図幅の大部分を占める山地の土じょう、南西部の森上山を中心とする準平原状の緩斜地域の土じょう、神楽尾山を中心とする丘陵地の土じょうはそれぞれちがつた特徴を持つている。これは、類似の基岩であつても、風化の経歴のちがひが地形と土じょうの特徴に現われているためであると思われる。これらのことを勘案すると、図幅内の土じょうは、矢倉山地域、摺鉢山地域、森上山地域、貴布禰地域、佐良山地域おとび神楽尾山地域の6地域に大別される。

① 矢倉山土じょう (Y)

古生層の粘板岩、準片岩等を母材とする山地急斜面の土じょうで、黒褐色のA層と褐色ないし暗黄褐色のB層で特徴づけられる。やや礫質の埴質土じょうであることが多い。各地の古生層山地に普通にみられる土じょうである。

② 摺鉢山土じょう (Su)

花崗岩質岩石主として閃緑岩を母材とする山地急斜面の土じょうで、黒褐色のA層と褐色のB層で特徴づけられる。前者にくらべてやや砂質である。

③ 森上山土じょう (Mo)

古生層，局部的に花崗岩質岩石の風化物を母材とする準平原状の緩斜地域に分布する土じょうで，黒褐色のA層と褐色のB層を持ち，矢倉山土じょうや摺鉢山土じょうにくらべるとやや埴質である。

④ 貴布禰土じょう (Ki)

花崗岩を母材とする丘陵地の土じょうで，一般にA層が浅く，B層は橙味または黄味の勝った明るい褐色を呈する。

⑤ 佐良山土じょう (Sa)

石英粗面岩を母材とし，やや緩傾斜の低い山地または丘陵地に分布し，A層はやや浅く，B層は黄褐色を呈する。腐植に乏しく，下層の置換酸度が高い。

⑥ 神楽尾山土じょう (K)

古生層，中生層，第三紀層，洪積礫層を母材とする丘陵地の土じょうで，A層はやや浅く，下層土は黄褐色ないし赤褐色味をもつ。このうち，古生層を母材とし，ややA層の深い土じょう K1 と，その他の基岩の風化したA層の浅い土じょう K2 とに分けられる。

これらの土じょうは，いずれも日本の山地土じょうとして最も広く分布する褐色の土じょうに属するものと思われるが，貴布禰，佐良山，神楽尾山の各土じょうは，下層土の色調がやや赤色味を有するもので，赤色土に近いものと思われる。さらに，この3地域の土じょうは，緩傾斜の低い山地または丘陵地に限って分布し，腐植の含有量が少なく，A層が浅く，かつかなり強度に表面侵蝕を受けた土じょうが介在する等の点で共通した特徴を持つている。また，これらの3地域および森上山土じょうの地域には下層土が著しく赤色をおびた土じょうが尾根筋を中心として点在する。この土じょうの分布の中心は，図幅外南方の二上山を中心とする地域であるので，二上山土じょうとして区別した。

⑦ 二上山土じょう (Hu)

母材は古生層，花崗岩，安山岩等多岐にわたり，主として緩傾斜の低山，丘陵地の尾根に分布する。暗赤色の表土と赤褐色の下層土を有する土じょうである。

これら各地域の土じょうは，さらに局部的な水分環境のちがいと侵蝕の程度等によつてそれぞれ次のように分けられる。この区分の土じょうは，各地域を通じてそれぞ

れ共通の特徴が明瞭に認められる。

1) 矢倉山土じょう

- イ) A層が浅く、粒状または細粒状の構造が発達した乾性の土じょう (BA, BB 型土じょう) ……矢倉山1統 (Y1)
- ロ) 腐植に富む黒褐色のA層が発達した斜面中腹の適潤性土じょう (BD(d), BD 型土じょう) ……矢倉山2統 (Y2)
- ハ) A層が深く、団粒状構造が発達し、B層は暗黄褐色の斜面下部の弱湿性土じょう (BE, BD 型土じょう) ……矢倉山3統 (Y3)

2) 摺鉢山土じょう

- イ) A層が浅く、粒状または細粒状の構造が発達した砂質の乾性土じょう (BA, BB 型土じょう) ……摺鉢山1統 (Su1)
- ロ) A層がやや深く、塊状構造が発達した斜面中腹の土じょう (EB, BD(d) 型土じょう) ……摺鉢山2統 (Su2)
- ハ) A層が深く、腐植に富み、斜面下部に分布する弱湿性または適潤性の土じょう (ED, EE 型土じょう) ……摺鉢山3統 (Su3)

3) 森上山土じょう

- イ) A層が浅く、菌糸が発達し、粒状または細粒状構造が発達した埴質の乾性土じょう (BA 型土じょう) ……森上山1統 (Mo1)
- ロ) A層およびB層共に深い礫質の斜面中腹に分布する土じょう (BD(d) 型土じょう) ……森上山2統 (Mo2)
- ハ) A層は深く団粒状構造が発達し、全層が膨軟な斜面下部の崩積土 (BD, BE 型土じょう) ……森上山3統 (Mo3)

4) 貴布禰土じょう

- イ) A層はきわめて浅く細粒状構造の発達した乾性の土じょう (BA 型土じょう) ……貴布禰1統 (Ki1)
- ロ) A層は浅くB層は橙褐色の斜面中腹の乾性土じょう (BB, BD(d) 型土じょう) ……貴布禰2統 (Ki2)
- ハ) A層はやや深く、排水やや不良で埴質の沢沿いの土じょう (BD, BE, BF 型土じょう) ……貴布禰3統 (Ki3)

ニ) 侵蝕により基層の露出したもの (E_r) ……貴布禰 4 統 (K14)

5) 佐良山土じょう

イ) A層が厚く、A層は浅く、埴質で堅密な乾性土じょう (B_A, B_B 型土じょう)
……佐良山 1 統 (Sa1)

ロ) A層が浅いが斜面のやや急な所に分布する やや 膨軟な 不安定な 土じょう (B_B,
B_D(d) 型土じょう) ……佐良山 2 統 (Sa2)

ハ) A層がやや深い、谷沿いに崩積した土じょう (B_D, B_E 型土じょう) ……佐
良山 3 統 (Sa3)

ニ) B層の一部まで侵蝕を受けた土じょう (E_r) ……佐良山 4 統 (Sa4)

6) 神楽尾山土じょう

神楽尾 1 統 (K 1)

イ) A層が浅く粒状構造を呈し、B層は橙褐色の乾性の土じょう (B_A, B_B 型土じょ
う) ……神楽尾山 1a 統 (K1a)

ロ) A層が浅く、下層土は黄褐色を呈する斜面下部の土じょう (B_B, B_D 型土じょ
う) ……神楽尾山 1b 統 (K1b)

ハ) A層がやや深く、B層は黄褐色の斜面下部湿性土じょう (E_D, B_E 型土じょう)
……神楽尾山 1c 統 (K1c)

ニ) B層の一部まで侵蝕を受けたもの (E_r) ……神楽尾山 1d 統 (K1d)

神楽尾山 2 統 (K 2)

イ) A層が浅く、粒状構造が発達し、B層は明るい黄褐色を呈した土じょう (B_A, B_B
型土じょう) ……神楽尾山 2a 統 (K2a)

ロ) A層がやや深く、腐植に富み、B層がやや深い斜面下部の土じょう (B_E(w),
B_D(d) 型土じょう) ……神楽尾山 2b 統 (K2b)

ハ) A層が深い斜面下部沢沿いの 適潤または 湿性土じょう (B_D, B_E 型土じょう)
……神楽尾山 2c 統 (K2c)

ニ) 下層土の一部まで侵蝕をうけたもの (E_r) ……神楽尾山 2d 統 (K2d)

7) 二上山土じょう

イ) 下層土が赤色・赤褐色を呈する土じょう (R_A, R_B 型土じょう) ……二上山
統 (Hu)

Ⅲ. 1. 2. 土じょう各説

Ⅲ. 1. 2. 1. 矢倉山土じょう

本図幅の大部分を占める古生層地域で粘板岩・黒色准片岩・石英准片岩及びチャート之母材とする土じょうである。この土じょうのところは全般に急傾斜をなして、山岳地形を形づくっている。土じょうはやや深く、礫質～砂質である。尾根筋に現われる土じょうは、腐植に乏しく、A層が浅くて粒状～細粒状構造をした乾性の残積土Y1と、山脚～尾根の中間地帯、即ち急傾斜の山腹斜面に現われる適潤性のY2と、凹地形の山脚麓斜面に分布するA層が深く、B層が暗褐色を呈する湿性のY3とに細分される。

久世町檜西、余野上、鏡野町近衛殿、奥津町及び鏡野町の和田附近の山岳地では、Y1の分布は尾根周辺に限られて細長く現われ、Y2が最も巾広く分布している。これに対し落合町目木峠を縦貫する国道以南で姫新線を結ぶ線内の山地及び岩谷城附近の山地では、Y1が極めて巾広く分布し、Y2の分布が少い。湿性のY3土じょうの分布は他の土じょう統の地域にくらべて巾広く出現している。極めて一部分ではあるが妙見山南と、久未町中北上及び久世町二川に赤色土が分布しているが本土じょうは二上山土じょう(Hu)として区別した。

深さ15～190cmに達する黒色の表層を有する土じょうが久世町台金屋の薬王寺附近の台地に分布しているが、山地としては極めて僅かであり、耕地に分布しているものも面積的に少い。又二川地区の凹地に1ha程度分布しているが面積が極めて少いので土じょう図には現わさなかつた。

矢倉山1統：急傾斜の凸地に出現する。暗灰褐～黒褐色の浅いA層と、腐植を含まない明るい色調のB層とが明瞭に区画される。Ao層は2～5cmでよく乾燥して粉状になっている場合と、風衝地などではL、F層が厚く堆積している場合とがある。細根はAo層によく発達している。A層は全般的に浅く、乾燥して、暗灰褐色の場合が多い。粒状～細粒状構造をして腐植に乏しい。B層は明るい色調の場合が多くてA層よりも湿っているが腐植の含量は少い。全土層はY2よりも浅く且つ乾燥している。表層の酸性が特に強くC/N比が大きい。B_B～B_A型土じょうに相当する。落合町若林山周辺及び下河内北側の鈍頂の尾根附近はY1が広く広布する。永い間採草

地であつたため、地上物の略奪により地味は極めて瘠悪となつている。この付近では、コナラ、アセビ、ヤマハゼなどの乾燥型に属する植生の上木に、アカマツ天然林が点在する。

矢倉山 2 統：Y 1 下部斜面から山腹斜面に広く分布する。Ao 層が 1～2 cm 堆積し黒褐色をした A 層は腐植に富み、細根がよく発達して、孔隙量に富んでいる。中、大角礫を混えていることが多く、一般に砂質土じようである。B 層は明黄褐色をなし、塊状構造、中角礫が多く腐植にやや乏しい。断面はやや堅密であるが細根はよく分布している。この土じようは B_B～B_{D,d} 型土じように相当する。ヒノキ、スギの造林に適し、各所に美林がみられる。矢倉山土じようのうちでは分布面積が最も大きい。天然には主としてクヌギ、コナラ、ヤマザクラ、ホウノキ、エゴノキなどが生育する。

矢倉山 3 統：山脚谷筋より山腹の凹形斜面に分布する。ほとんど Ao 層を形成しない。膨軟で団粒構造に富んだ A 層は黒褐色で腐植に富み、大・中角礫を混えて厚く堆積する。孔隙量は大きく、細根が極めて多く分布して通気性もよい。下層土は暗褐色をして団粒～塊状構造をなして腐植を含み小角礫が多い。断面は軟かく小中根がよく発達している。C/N 比が低く置換性 Ca が多い。ミズキ、エゴノキ、クリ、ホウノキ、ヌルデ、タラノキ、サンシヨウ、ニワトコ、アザミ類、リヨウメンシダ、ランタなどの湿性植物が分布している。スギ造林地の生育はきわめて良好である。

III. 1. 2. 2. 摺鉢山土じよう

本図幅内西北部、真庭郡久世町兼秀奥・湯原町の一部・苫田郡富村の南部に分布する花崗閃緑岩・石英閃緑岩を母材とする土じようである。大平峠及び摺鉢山より放射状に延びた無数の小尾根は基岩の露出が甚だしく、岩山となつていて林木の生育に適さないところが各所にみられる。標高は約 240～879m の間にある。

この地域の富東谷附近を除けば 30～40° で急傾斜の山岳地形をなしている。尾根周辺に分布する乾燥した土じよう (Su 1)、尾根周辺下部より山腹に亘り分布する (Su 2)、山麓の凹形地の崩積土 (Su 3) に分かれる。

Su 1, Su 2, Su 3 共に透水性が悪く、砂質で腐植が少なく、C/N 比が大きい。さらに置換酸度、置換容量が小であることが特徴である。

この地域の平峠の久世町寄り山脚の谷筋と湯原町寄りの谷筋にはやや湿性と思わ

れる黒色の土じようが分布するが面積が僅かであるので土じよう図には現わさなかつた。

摺鉢山1統：この土じようはA層が浅く、細粒状構造をして、下層土が明るい色調をしている。A B 両層の厚さは 50cm 前後で基岩に達する。B層は黄褐色～褐色をして粒状～堅果状構造である。腐植はほとんど含まず根系の発達もあまり良好でない。この土じようのほとんどがザツ、コナラの天然林であるが国有林においてはヒノキの造林が行なわれている。

摺鉢山2統：この土じようは、山腹の匍行土で B_B～B_D(d) 型土じように相当する。この土じようでは大・中角礫が多く、土じように安定性がない。A層が Su₁ よりも深く且つ湿つて黒褐色をしており団粒～塊状構造をして中細根がよく発達する。Su₁ よりも全般に湿つており全層も深く林木の生育に適する。

摺鉢山3統：沢沿いや大きな谷の山脚部に分布しており B_D～B_E 型土じように相当し、適潤性でスギの生育に適する。A₀ 層を堆積せずA層は深くて軟かく腐植に富んでいる。中、細根がよく発達し、中、大角礫を混えた断面は軟かく湿っている。B層も腐植に富んで黒褐～暗褐色をなし、団粒～塊状構造である。A B 両層共深くて孔隙量に富み、林木の生育に適する。この地域はY 3 とほぼ同じ植生である。

III. 1. 2. 3. 森上山土じよう

この土じようは、姫新線追分、坪井間の南側に当る中高地帯であつて海拔 300～566m の間にあり、基岩は古生層の黒色准片岩が大分部を占め、一部に花崗閃緑岩が分布している。休札より幻往寺西に至る尾根及び森上山より南に延びた尾根には赤色土が比較的広く分布している。干田、大谷附近は頂上が 2～6° の平坦地で山腹斜面が急傾斜をなしてV字型の斜面を形づくっている。このため尾根附近はよく開墾され、又部落も多い。この附近では山脚～中腹によく適潤性土じようが分布している。

この地域の尾根周辺は一般に緩傾斜でアカマツ天然林が多い。これら尾根周辺に分布する土じよう (Mo₁) と、その下部より中腹に至る斜面に分布するやや湿つた匍行土 (Mo₂) と、谷筋に分布する適潤性土じよう (Mo₃) とに細分することが出来る。Mo₁ はこの地域では 34%、Mo₃ は 14% の面積を占めるが Mo₂ は 58% を占めて最も広く分布する。

磷酸吸収力が小さく置換性 Ca の量が少なく、置換容量がやや大きい傾向がある。

森上山 1 統：この土じようは尾根やその周辺に分布している残積土で、表層は浅く灰褐色を呈し、粒状～細粒状構造をしてよく乾燥している。下層土は埴質で、堅果状～塊状構造が発達する。細、中根が多く粘着度が大きく、腐植に乏しくて黄褐色をしている。この土じようは C/N 比が大きく表土の酸性が強い。コナラ、アカマツ、アセビ、ソヨゴ、ヤマハゼ、ナツハゼ、ツツジ類などが多く生育している。

森上山 2 統：この土じようは Mo1 の下部斜面に分布する匍行土で傾斜が急であるため土じように安定性がない。A層が Mo1 よりも厚く、且つ塊状～粒状構造をしている。小、中角礫が多く埴質じよう土が多い。下層土は斜面形により帯赤褐色～暗黄褐色をしてA層よりも湿っている。この土じようにはヒノキの造林地が各所にみられ、クリ、コナラ、ヤマハゼ、エゴノキ、ネムノキ、アザミ、アオキ、ヌルデ、イタドリ、タノウツギ、ホウノキ、クズ、ツルリンドウなどが多く生育している。

森上山 3 統：山脚や山麓下部斜面に出現する崩積土である。水分の供給がよく行なわれるので膨軟で黒褐色をしたA層は団粒構造をして厚く堆積する。小、中、角礫が介在し根の発達もよい。下層も腐植を含み孔隙量が大きめで軟かい。B_D～B_E 型土じように相当する土じようである。この土じようには、ミズキ、クヌギ、クリ、ホウノキ、ヌルデ、サンショウ、リョウメンシダ、シケンダなどが多く生育している。

III. 1. 2. 4. 貴布禰土じよう

本図幅内南部中央よりやや東寄りの位置で、久米郡久米町錦織、貴布禰神社、稼塚、休札、打穴西を結ぶ線内約 1,145ha の面積を占める。母材は閃雲花崗岩を主体とし一部に輝石安山岩、石英斑岩、石英粗面岩を混える。傾斜は 10～25° 程度で標高約 160～380m の間にある。Su 統の閃緑花崗岩地帯に比して地形は概ね低山性の緩傾斜地が多い。尾根周辺に分布する乾性の残積土 Ki1 と、中腹～山脚に亘る匍行土 Ki2、山脚～谷筋に分布するややA層の深い Ki3 とに細分される。Ki4 は稼塚より南に延びた尾根に分布する侵蝕土である。この土じよう統のうち Ki1 が 83% を占めて最も広く Ki2 は 14%、Ki3 は 2% で極めて少い。Ki3 は油木下、福田下附近の北面した山麓の谷筋に細く分布しているが、土じよう図に現わす程の中でないので省略した。腐植の量が少なく、置換容量が小さい。この土じよう統には休札の東側に 1 部スギの造林地がみられる程度でその他にはスギの造林地がほとんどみられずヒノキの造林地が点在する程度である。

貴布禰 1 統：鈍頂の丸い尾根や、その下部周辺から中腹乃至山脚に分布している。Ao 層は人家より遠隔地では 2～5 cm 堆積するが、人家近くや交通の便利な山では、落葉落枝を採取するため Ao 層がほとんどみられない。A 層は極めてうすく細粒状構造が発達して極めて軟かい。又菌糸を含む場合や M 層を形成していることがある。B 層は褐色をなしているが腐植をほとんど含まない堅い土じようで粒状～堅果状構造の場合が多い。C 層は橙色～橙褐色がかつたものが多い。BA 型土じように相当する。全般にアカマツ天然林で、コナラ、ウラジロノキ、ネズミサシ、ウラジロノキ、ソヨゴ、イヌツゲ、ミツバツツジ、ヤマツツジ、スノキ、ナツハゼ、ヤマハゼなどの乾性植物が分布する。

貴布禰 2 統：この土じようは山腹斜面の凹地に僅か分布し (BB～BD(d)) 型土じように相当する。A 層は黒褐色で Ki1 よりもやや厚く腐植含量も多くて湿っている。Ki1 に比して断面が軟かく中、大礫を多く含んでいる。下層土は橙褐色をして粒状～塊状構造をしている。出現位置により下層土が灰橙色をして、壁状構造のところも部分的にみられる。Ki2 では下層土の透水性が悪く酸性が強くて、置換性 Ca が極めて少い。主としてアカマツ、コナラ、リョウブ、ネザサ、シンガシラ、ススキなどが多く生育する。

貴布禰 3 統：この土じようは谷筋の山脚麓面に分布する。その分布面積は極めて少く貴布禰統の 2% を占めるに過ぎない。A 層は暗褐色をして団粒～塊状構造が発達し、腐植に富む下層土は黄褐色をして、やや腐植に乏しい。出現する位置により下層土は壁状構造の場合がある。BD～BE 型土じように相当する。Y1 統や Su3 統に比して A 層がうすく C/N 比が低い。クリ、コナラ、ヤマハゼ、ノグルミ、クヌギ、ヌルデ、ヒサカキ、タニウツギ、シケンダ、イタドリ、カンスゲ、スイカズラなどが生育している。

貴布禰 4 統：この土じようは稼塚より南に延びた緩傾斜の尾根に分布している。表層が侵蝕を受け A 層を欠除している。傾斜がやや急なところでは B 層の一部を欠除している場合が多い。ほとんどアカマツ、ネズミサシ、ツツジ類が多い。

III. 1. 2. 5. 佐良山土じよう

この土じようは佐良山より南に延びた石英粗面岩及び石英斑岩を母材とする土じようである。地域内の佐良山 (356m) 笹山 (301m) 長万寺 (480m) 周辺に分布し、尾

根は比較的丸く緩傾斜をなしている。佐良山では緩斜面がよく開かれ畑地として利用されている。全体に上昇斜面形が多く凸地形のところが多い。尾根やその周辺に分布する緩斜凸地の乾性土じょう Sa1, その下部斜面の Sa1 よりもやや湿つた且つ腐植を含む土じょう Sa2, 山脚～谷筋に亘る凹形地形の比較的土層の深い土じょう Sa3, および、侵蝕を受けた土じょう Sa4 に細分した。全体として酸性が強く、下層の置換酸度が高い。Ca の含量が少なく、粘土より微砂が著しく多い傾向がある。Sa1, Sa2 ともにアカマツ天然林が多く、コナラ、クヌギ、アベマキ、カシワ、ソヨゴ、アセビ、リョウブ、エゴノキなどの下木が生育している。

佐良山 1 統：佐良山、笹山、嵯峨山などの尾根を中心として、比較的中広く出現する。A層が極めてうすく粒状構造をしており、下層土は、堅果状～細粒状でよく乾燥している。BA～BB 型土じょうに相当する。この附近では落葉落枝の採取が行なわれないため Ao 層を厚く堆積している。又 B 型の菌糸網層を認めることがある。全般に表層と下層土とは明瞭に区別される。下層土は腐植に乏しい黄褐色をして細粒構造と堅果状構造が交錯していることが多い。C/N 比が大きく、置換性 Ca が少い。この土じょうでは、ほとんどアカマツ、コナラ、ソヨゴ、アセビ、ヒサカキ、ネジキ、ネズミサン、ツツジなどの乾性植物により占められている。

佐良山 2 統：Sa1 統の下部斜面から山脚にかけて分布している土じょうである。Sa1 統の 50% に次いで Sa2 統は佐良山土じょうの 37% の広い面積を占める。Sa1 統よりも A 層が厚くて湿っているが、傾斜のため土じょうに安定性がない。表土は黒褐色～灰褐色で 2～6 cm、下層土は明るい色調の黄褐色で 30～50cm 程度である。この土じょうのところに植栽されたヒノキは比較的良好な生育を示している。

佐良山 3 統：大きな谷筋の麓斜面に分布する土じょうで、その出現のしかたは谷筋に沿って細長く分布している。佐良山土じょう統の内では分布面積が最も少く 6% にすぎない。表層は黒褐色、団粒状構造で Sa2 よりも深いが Y3 や Su3 に比較すれば表層も全層も共に浅くて、腐植の含有量が少く色調も淡い。下層土は灰褐色をして、壁状構造が多い。表層よりも下層土が酸性が強く、微砂が多くて粘土が少ない。又透水性が不良で、置換性 Ca が少い。特に Sa1, Sa3 共下層の置換酸度が表層よりも強いことは、特異な性質と思われる。

佐良山 4 統：佐良山より東南に延びた尾根や、嵯峨山、笹山及び長万寺裏山の各尾

根に細長く分布している土じょうで、A層を欠除しB層の一部が侵蝕されたものである。この侵蝕された土じょうの中は拡大されつつあるので早急は対策が望ましい。

III. 1. 2. 6. 神楽尾山土じょう

この土じょうは津山盆地の低山性丘陵地帯に分布する土じょうで、古生層黒色准片岩及び粘板岩、中生層（三畳紀）の砂岩及び頁岩、第三紀層（中新世）の礫岩、砂岩及び頁岩などを母材とする土じょうである。全般に緩傾斜地をなして海拔高は110～380m（神楽尾山）の間にある。

古生層を母材としたものを神楽尾1統（K1）とし、第三紀及び中生層を母材としたものを神楽尾2統（K2）、として分類した。

神楽尾山1統

K1統は神楽尾山を中心として南北に延びた低山性山地と鏡野町宗枝～山城を結ぶ丘陵性の地帯及び久米川南地区並びに森上山中高地東部斜面地帯の古生層黒色・緑色准片岩、粘板岩を母材とする地域で、地形は丘陵性で鈍頂の尾根を形づくり緩傾斜をなしている。

残積土の尾根周辺の乾燥した土じょう K1a と、中腹の比較的土じょうの深い匍行土 K1b と、山脚谷筋に分布する崩積土の適潤性土じょう K1c とに分かれる。K1統の面積3.175haのうち、K1a が66%を占め K1b は23%であり K1c は5%に過ぎない。

神楽尾山を中心として南北に、又平尾部落や公保田南の鈍頂の尾根に比較的中広く分布する侵蝕を受けた土じょうは K1d として区分した。

神楽尾山 1a 統：最も中広く且つ大部分を占める乾性土じょうで、尾根から中腹に亘っている。特に、総社、西谷、平尾部落附近では山脚までこの土じょうで占められている。尾根附近は平坦地が多く、急なところでも20°前後で緩傾斜地が多い。A層は1～3cmで浅く、黒褐～灰褐色を呈して、極めて軟かく粒状～細粒状構造が発達し、乾燥している。傾斜のあるところでは、M層を形成してd型の菌糸網層が1～3cmめとめられることがある。全体に腐植の含有量は少ない。下層土は橙褐～褐色であつて、堅果状～塊状構造である。BA型土じょうに相当する。この土じょうは地味が瘠悪で尾根附近では、アカマツの生育も悪い。置換性Caが少ない。

神楽尾山 1b 統：中腹～山脚に分布する土じょうで B_B～B_D(d) 型土じょうに相当

する。この土じようは主として北面した斜面に多く分布している。A層は暗色～褐色で粒状～塊状構造が発達しやや乾燥している。下層土は黄褐～橙褐色がかつて湿つてゐる。この土じようでは置換性 Ca が少く、C/N 比が大きく酸性が強い。Y2 よりも乾燥しており、Y1 に近い断面形態をなしていることが多いが下層土の色調は Y1 よりも灰褐色～橙色がかつている。土じようの深さは、Y2, Su2, Mo2 などよりも浅く、Ki2 に近似する。この土じようのところにはヒノキ、スギの造林地がほとんどみられずアカマツ、コナラ、ミツバツツジ、ヒサカキなどが多い。

神楽尾山 1c 統：谷筋や山脚に分布する適潤性土じようで中山神社北側、川西、谷尻高屋などの山脚凹地に細く部分的に出現するに過ぎない。幻住池より流れる小谷に沿つた斜面や、円住寺部落の下部を東流する谷筋に分布しているものは、中山神社北側、川西などに出現するものよりも土じよう層は深く、A層も深く膨軟である。この土じようの所ではスギ、ヒノキの生育良好な造林地がみられるが、川西附近ではヒノキの生育があまり良好でない。

神楽尾山 1a 統：K1 統のうちの 6% を占める受蝕土である。神楽尾山、西田辺南、公保田附近の尾根に分布し、その巾も比較的広い。ほとんどが B 層の大部分を欠失し、C 層の露出地が多い。

神楽尾山 2 統

K2 統は津山市街地裏山の東大地区、下田邑地区の第三紀層の頁岩、砂岩の互層、鏡野町下森原、竹田、戸島附近の第三紀層並びに河本、美作千代駅北側の丘陵性台地、姫新線に沿つた第三紀層地帯の土じようであつて、地形は丘陵性の丸い尾根をもつた低山地帯である。尾根や斜面上部に分布する極めて乾燥した K2a 土じよう、やや湿つた K2b 土じよう、および斜面下部の K2c 土じように分けられる。

神楽尾山 2a 統：神楽尾山 2 統の面積 2.074 ha のうちの 72% を占める。山脚～尾根に亘つて巾広く分布する乾性土じようである。BA～BB 型土じように相当する。傾斜は 0～20° 程度で 6～8° の緩傾斜地が大部分を占める。この土じようのところは人家にも近く又歩道が各所に通じているため落葉落枝の採取が盛んに行なわれているために Ao 層がほとんどみられない。黒褐～灰褐色をした A 層は 1～3 cm 程度で浅く粒状構造が発達して極めて乾燥している。腐植の含有量は乏しい。下層土は明るい橙褐～暗黄褐色をして堅果状構造が多く、乾燥している。透水性が悪く、置換性 Ca が

少い。一般に地味は瘠悪で、アカマツの生育も悪く、矮小な雑木が下層に生育している。

神楽尾山 2b 統：比較的傾斜のある山麓斜面に分布しているが面積は少い（402ha、7%）。表層は K2a よりも深く腐植に富んでいる。又全層土も深く、湿っている。BB(w) ないし BD(d) 型土じょうに相当する。部分的にスギ、ヒノキの造林地がみられ、ヒノキはかなりの生育をしている。

神楽尾山 2c 統：この土じょうは斜面下部を占める崩積土の適潤性の土じょうであつて BD~BE 型土じょうに相当する。比較的傾斜地の山脚凹部に極めて僅か出現する。Y3 や Su3 と異り A 層も浅く腐植が少い。粘土及び微砂の含量が多い。Ki3, Sa3 に比して置換酸度が大きく置換性 Ca も K1c よりも大きい。

神楽尾山 2d 統：侵蝕を受けた土じょうであつて、男山北側の丘陵地に広く分布する。この土じょうも B 層の大部分が欠除されている。上田邑に出現しているものは、その侵蝕が拡大しつつある。

III. 1. 2. 7. 二上山土じょう

二上山統

この土じょうは「津山西部」図幅外の二上山（貴布禰統の南側）を中心として貴布禰統、森上山統、佐良山統、神楽尾山統の分布する地域の尾根に細長く点在する。表層及び下層土が赤褐色を呈する土じょうであつて、RA, RB 型に相当する。表層を欠除するものと、帯赤褐～暗赤褐色の A 層が 2~4 cm 認められるものと 2 種がある。赤褐色の部分は 40~250cm に達し、埴質で粘りが強い。この土じょうの成因は詳かではなく、現位置に於て赤色化したものか、他から運積されて堆積したものか不明であるが、全体に腐植の含量は少く地味は瘠悪である。

第5表 山地丘陵地域の土じょう統別分布面積

統	名	記号	面積	面積比	土じょう統別面積比
			ha	%	%
矢倉山土じょう	矢倉山1	Y 1	5.447.3	28	46
	矢倉山2	Y 2	11.460.9	59	
	矢倉山3	Y 3	2.579.1	13	
	計		19.487.3	100	
摺鉢山土じょう	摺鉢山1	Su 1	723.1	33	5
	摺鉢山2	Su 2	1.141.5	53	
	摺鉢山3	Su 3	307.6	14	
	計		2.172.2	100	
森上山土じょう	森上山1	Mo 1	936.0	34	6
	森上山2	Mo 2	1.601.5	58	
	森上山3	Mo 3	237.2	8	
	計		2.774.7	100	
佐良山土じょう	佐良山1	Sa 1	1.187.5	50	6
	佐良山2	Sa 2	881.3	37	
	佐良山3	Sa 3	133.7	6	
	佐良山4	Sa 4	168.3	7	
	計		2.370.8	100	
貴布禰土じょう	貴布禰1	Ki 1	946.0	83	3
	貴布禰2	Ki 2	156.8	14	
	貴布禰3	Ki 3	25.9	2	
	貴布禰4	Ki 4	17.2	1	
	計		1.145.9	100	

統 名	記 号	面 積	面 積 比	土じょう統 別面積比
神楽尾山土じょう				
神楽尾山 1 a	K 1 a	2.083.2 ^{ha}	66 [%]	7 [%]
神楽尾山 1 b	K 1 b	723.1	23	
神楽尾山 1 c	K 1 c	161.1	5	
神楽尾山 1 d	K 1 d	208.4	6	
	計	3.175.8	100	
神楽尾山土じょう				
神楽尾山 2 a	K 2 a	1.488.0	72	5
神楽尾山 2 b	K 2 b	402.6	19	
神楽尾山 2 c	K 2 c	36.0	2	
神楽尾山 2 d	K 2 d	148.1	7	
	計	2,074.7	100	
二上山土じょう 二上山	Hu	373.8	100	1
	耕地その他	8.674.8	100	21
計	合 計	42.250.0		

Ⅲ. 2. 低地地域の土じょう

Ⅲ. 2. 1. 概 説

図幅の右半部を占める津山盆地には、奥津より南流蛇行する吉井川が東流し、これに鏡野町を南流する香々美川、久米町を東流する久米川、久米町、中央町を東流したのち佐良山を北流する皿川などが合流している。

又図幅の左下部に偏して旭川のごく一部が南流し、これに富村を南流する目木川が合流する。

低地地域の土じょうは、これらの河川堆積物を主とする沖積地帯および周辺の山麓扇状地に大部分存在し、他に図幅の大部分を占める山塊の間に点在する沖積ないし崩積地が僅かにある。吉井川、旭川ともに周知の如く、それぞれ上斉原、蒜山原の安山

岩質火山砕屑物（表層は火山灰を主体とする）に源を発するが、いずれも花崗岩、花崗閃緑岩、玢岩の分布する地域を南流し、これらの多量の土砂を堆積して低地地域の土じょうを形成している。

山間および山麓扇状地を占める土じょうは第三紀層（砂岩、礫岩、頁岩）、流紋岩および古生層（三群変成岩類）の崩壊、風化堆積物を主体としたものが多い。

以上の母材、成因の関係から、この地域の土じょうは

- 1) 火山灰を堆積母材に含む「布原土じょう」
- 2) 第三紀層、流紋岩、古生層などの風化堆積物を母材とする「久米土じょう」「作楽土じょう」「田邑土じょう」
- 3) 吉井川、旭川の河川堆積物を母材とする「院庄土じょう」「河辺土じょう」
- 4) 堆積時凹所のため、火山灰、有機物などの黒泥化した「円宗寺土じょう」の四つに大別される。

以上のうち3)の河川沖積土じょうは分布範囲が比較的明らかであるが、他の土じょうはかなり複雑に錯綜分布している。

以下これらの各土じょう毎に説明する。

① 布原土じょう (N)

吉井川、香々美川、目木川の上流地域で、火山灰が多量の土砂とともに准積したものと、布原および台金屋地域の如く、台地上に火山灰の准積したものの二系統がある。

概して、前者は土性粗く、PH、塩基置換容量、磷酸吸収係数などが低く、後者即ち台地上のものは、土性細かく容積重低く、置換容量、磷酸吸収係数高く、火山灰の性格が強い。

② 久米土じょう (Ku)

久米町、中央町、落合町の山間扇状台地、鏡野町東部山麓扇状台地に大部分分布し、主として三紀層、古生層の崩壊堆積したものを母材とする地域で、下層土はいずれも黄褐色を呈し、埴質な土じょうが多く、排水は不完全なものが多いが、下層に構造の発達したものが多く、グライ層を有する土じょうは少ない。大部分は二毛作田として利用されているが、粘重で耕起又は砕土しにくいなどの難がある。

③ 作楽土じょう (S)

前述の久米土壌と類似した地形の所に多く分布し、母材もほぼ類似しているが、下

層土は概して灰褐色を呈し、河川流域の沖積土じょうへの移行型が多い。粘質な土じょうが多く、排水不良なものが多いがグライ層はほとんどない。ごく一部花崗岩崩積土に由来する砂礫層を有し、排水過良な土じょうもある。粘質なものの耕地利用面からの難点は、ほぼ久米土じょうに準ずる。

④ 田邑土じょう (Ta)

この地区の土じょう中最も湿田的な土じょうで、分布地域は排水不良の山間部の低地および山麓に広く散在分布する。常時地下水位が高く、作土内至作土直下よりグライ層が発達し、粘重な土じょうが大部分で、一部下層に角礫或は僅かな黒泥質が出現するものもある。ほとんどが一毛作田である。

⑤ 院庄土じょう (In)

吉井川、旭川両河川流域に沿い、前述の久米、作楽、田邑土じょうに隣接した平坦な沖積土じょうで大部分は表土、下層土とも灰褐色を呈し地下水位低く、排水の良い土じょうで、粘土含量も比較的多い二毛作田で後述の河辺土じょうより生産力は優る。

⑥ 河辺土じょう (Ka)

吉井川、旭川およびこれらの支流の沿岸沿いに度重なる流路の変遷とともに発達しは河川沖積土じょうで30~60cmより砂礫層を有する排水の極めてよい土じょうで、概して置換容量、磷酸吸収係数ともに低く、生産力の劣る二毛作田が多い。粘土の客土、漏水防止、堆厩肥の施用が最も望ましい土じょうである。

⑦ 円宗寺土じょう (E)

香々美川流域の市場、公保田、円宗寺を中心とした地域に大部分分布し、その他山間部の低湿地に点在する土じょうである。いずれも下層30~60cmに黒泥を有し、排水の悪いものが多く比較的磷酸吸収係数、置換容量は高く末分解性有機物が多い。

これらの土じょうは、土性、地下水位の位置などにより、各々数個の土じょう統に分けられる。

1) 布原土じょう

イ) 表層黒色下層は暗黄褐色の地下水位のやや低い砂質土じょう……………布原1統 (N1)

ロ) 表層黒色下層は黄褐色の地下水位やや高い埴質土じょう……………布原2統 (N2)

- ハ) 60cm まで黒色，下層は黄褐色の地下水位やや高い埴じょう土の土じょう ……
布原 3 統 (N 3)
- ニ) 表層灰褐色，下層 50～80cm まで黒色の地下水位やや高い埴質土じょう ……
布原 4 統 (N 4)
- 2) 久米土じょう
- イ) 黄褐色埴じょう土で下層土の少い地下水位の低い土じょう ……久米 1 統
(Ku1)
- ロ) 埴質で黄褐色を呈し，角礫多い地下水位のやや高い土じょう ……久米 2 統
(Ku2)
- ハ) 黄褐色じょう土内至埴じょう土で地下水位の高い土じょう ……久米 3 統
(Ku3)
- 3) 作楽土じょう
- イ) 灰褐色埴じょう土で下層に砂礫の多い土じょう ……作楽 1 統 (S1)
- ロ) 表層灰褐色，下層黄褐色を呈する埴じょう土で地下水位のやや低い土じょう
……作楽 2 統 (S2)
- ハ) 灰褐色埴じょう土で地下水位やや高く下層に礫が多い土じょう ……作楽 3 統
(S3)
- ニ) 灰色内至灰褐色を呈し全層礫の多い埴じょう土内至じょう土で地下水位のやや
高い土じょう ……作楽 4 統 (S4)
- 4) 田邑土じょう
- イ) 灰色を呈し，60～80cm 以下からグライ層となる礫に富む埴質土じょう ……
田邑 1 統 (Ta 1)
- ロ) 表層灰褐色下層灰内至灰青色を呈し，礫にとむ埴じょう土内至じょう土で60～
80cm 以下からグライ層となる土じょう ……田邑 2 統 (Ta 2)
- ハ) 表層灰色内至灰褐色を呈し 30～40cm 以下暗灰色のグライ層となる埴質土じよ
う ……田邑 3 統 (Ta 3)
- 5) 院庄土じょう
- イ) 表層灰褐色埴じょう土，下層黄褐色の砂質で地下水位低い土じょう ……
院庄 1 統 (In 1)

- ロ) 全層灰褐色を呈し、表層は埴じょう土、下層は砂質の地下水位低い土じょう
……………院庄 2 統 (In 2)
 - ハ) 灰褐色埴じょう土で、地下水位やや高い土じょう……………院庄 3 統 (In 3)
 - ニ) 灰褐色埴じょう土内至埴土で下層は礫に富む地下水位のやや高い土じょう
……………院庄 4 統 (In 4)
 - ホ) 表層灰褐色、下層灰色を呈するじょう土で 50cm 以下グライ層となる土じょう
……………院庄 5 統 (In 5)
- 6) 河辺土じょう
- イ) じょう土で 30~40cm より砂礫層となる土じょう……………河辺 1 統 (Ka 1)
 - ロ) 表層のみ埴じょう土で 30~40cm より砂礫層となる砂質土じょう……………河
辺 2 統 (Ka 2)
 - ハ) じょう土で 50~60cm より砂礫層となる土じょう……………河辺 3 統 (Ka 3)
 - ニ) 砂じょう土で 50~60cm より砂礫層となる砂質土じょう……………河辺 4 統 (Ka 4)
- 7) 円宗寺土じょう
- イ) 表層暗灰色を呈し 60cm まで火山灰を含む黒泥を有し、30cm 以下礫の多いや
や地下水位の高い土じょう……………円宗寺 1 統 (E 1)

第 6 表

地 下 水 位	地 形 面	河 川	河 川 冲 積	山 間 低 地	山 麓 扇 状 地
		沿 岸 冲 積	平 坦 面		
低 一 中 一 高	や や 低 や や 高	河辺 1 河辺 2 河辺 3 河辺 4	院庄 1 院庄 2		作楽 1 久米 1
			院庄 3 院庄 4	布原 1	作楽 2
				円宗寺 1	作楽 3 布原 2 久米 2 作楽 4 布原 3 布原 4
			院庄 5 円宗寺 2	円宗寺 3 田邑 1 田邑 2 田邑 3	久米 3

ロ) 埴じょう土で 30~60cm に黒泥をはさむ地下永位の高い土じょう……………円
宗寺 2 統 (E 2)

ハ) 表層灰褐色, 50cm 以下に黒泥を有し, 地下水位の高い埴質土じょう……………
円宗寺 3 統 (E 3)

地形面と地下水位の高低で, これらの土じょうを表示すると第 6 表の如くなる。

なお低地地域の土地利用状況の概要は別表の通りである。

第 7 表 低地地域土地利用現況表 (昭和 25 年農業センサスによる)

市町村名	耕 地 面 積			農家 戸数	農家一 戸当耕 地面積	田 畑 比 率		山 林	草 地
	田	畑	計			田	畑		
津山市	ha *(850.5)	ha *(199.5)	ha *(1050.00)		ha ***(0.683)	% *(81)	% *(19)	ha *(250.0)	ha *(26.0)
苦田郡									
芳野	309.57	22.96	332.53	444	0.749	93	7	59.7	2.4
郷	261.12	18.38	279.50	358	0.781	93	7	105.4	21.4
大野	298.65	32.80	331.85	477	0.695	90	10	144.2	55.1
小田	154.95	32.25	187.20	294	0.637	83	17	44.0	23.9
中谷	121.47	43.90	165.37	275	0.601	73	27	539.0	84.8
富	179.51	48.80	228.31	320	0.713	79	21	792.4	128.0
久田	137.01	30.84	167.85	344	0.488	82	18	433.0	53.8
一宮	118.93	21.42	140.35	166	0.845	85	15	101.8	26.4
田邑	285.13	45.30	330.43	398	0.830	86	14	127.4	8.4
香々美南	221.19	31.32	225.79	364	0.694	87	13	141.2	26.9
香々美北	126.51	29.32	155.83	276	0.565	81	19	726.1	9.9
真庭郡									
落合	423.92	79.30	497.47	724	0.687	85	15	373.7	93.4
久世	323.52	61.20	384.72	695	0.554	84	16	502.5	85.1
美和	277.80	79.03	356.83	572	0.624	78	22	525.1	61.0
河内	199.30	78.44	277.74	464	0.599	72	28	400.1	139.0

市町村名	耕 地 面 積			農家 戸数	農家一 戸当耕 地面積	田畑比率		山 林	草地
	田	畑	計			田	畑		
川 東	ha 236.72	ha 66.63	ha 303.35	487	ha 0.623	% 78	% 22	ha 136.7	ha 55.3
久 米 郡									
久 米	228.85	27.50	256.35	334	0.768	89	11	47.1	6.1
三 保	224.06	50.23	274.29	384	0.714	82	18	108.4	1.8
打 穴	246.87	65.63	312.50	326	0.959	79	21	343.3	72.8
倭 文	461.39	73.00	534.39	601	0.889	86	14	430.4	48.1
大 井 西	166.89	54.67	221.56	355	0.624	75	25	238.6	99.5
大 東	421.79	64.31	486.10	690	0.704	87	13	496.6	221.4
合 計	6275.65	1256.73	7532.38	—	—	—	—	7166.70	

注) * 津山市は図中に含まれる部分の推定値を示す。

**旧津山市全市平均を示す。なお山林および草地面積は図幅中の全部を含まず。

第8表 特用作物の作付面積表

(昭和26年)

			蘭 草	薄 荷	こんにやく	た ば こ
			ha	ha	ha	ha
津 山 市			14.0	0.4	—	4.0
苦 田 郡						
芳		野	5.7	—	—	2.3
		郷	5.0	0.1	—	1.8
大		野	2.4	—	—	1.7
小		田	0.7	—	—	0.9
中		谷	0.2	—	1.6	0.3
		富	—	—	0.8	—
久		田	—	—	0.3	0.4
一		宮	4.4	—	—	1.4
田		邑	2.8	—	—	1.7

	藪	草	薄	荷	こんにやく	たばこ
	ha	ha	ha	ha	ha	ha
香々美南	2.3	—	—	—	0.2	1.0
香々美北	—	—	—	—	0.4	—
真庭郡						
落合	11.7	—	—	—	0.2	—
久世	3.9	—	1.5	—	0.2	6.0
美和	4.9	—	0.2	—	0.2	4.3
河内	4.5	—	0.3	—	—	3.9
川東	8.4	—	—	—	—	4.3
久米郡						
久米	0.6	—	—	—	—	0.2
三保	0.2	—	0.2	—	—	0.6
打穴	0.2	—	—	—	—	5.5
倭文	1.1	—	—	—	—	3.1
大井西	1.2	—	0.1	—	0.4	2.6
大東	1.3	—	0.2	—	0.8	1.9

Ⅲ. 2. 2. 土じょう各説

Ⅲ. 2. 2. 1. 布原土じょう

地域：図幅の北半部にあつて山間を蛇行して南流する、香々美川、吉井川、目木川流域の低地ではほぼ標高 200～450m 附近に堆積分布するものと、吉井川と香々美川の合流点附近および目木川と旭川の合流点附近の標高 150m 内外の台地上に堆積したものとある。

前者、即ち河川流域の低地に分布するものは香々美川では鏡野町寺和田まで、吉井川では奥津町の大部分と鏡野町城山附近まで、目木川では富村のほとんど大部分である。

後者、即ち台地上に分布するものは、鏡野町布原の台地に大部分が分布し、わずか

に久世町台金屋の台地上に見られる。

河川流域のものは、夫々河川により運搬堆積されているため、境界が不明瞭であるが、台地上に堆積するものは、他の土じょうとの境界が比較的明瞭である。

地形：香々美川、吉井川流域のものは、いずれも、河川の流域に沿って山麓より谷底に向つて狭小な谷底平野をなし、目木川上流富村のものは一部は狭小なものもあるが、かなり平坦な冲積面を呈す。布原台地は東側山裾と、西南隅の集落に近い部分で、やや高いほかはゆるやかな起伏をもち、台金屋は東南に向けて緩傾斜する台地上の扇状地である。

土じょうの特徴・分布

土じょうの形態から、1) 火山灰を混じた河川の運積土砂および附近の山の崩積土砂が混在し、粘土分の少ないもの 2) 火山灰層薄く、下層は残積土よりなるもの 3) 火山灰層厚く下層は残積土よりなるもの 4) 下層土に火山灰層をはさむものの4種に大別される。

布原1統

香々美川、吉井川上流域の谷底平野は、河川の運積土砂の混入するもの多く、富村の低地土じょうの大部分は崩積土砂が混入しているのが多い。いずれも火山灰混入量が少いため、磷酸吸収係数は比較的 low、表層 20cm 位までが黒色で腐植が多いが、下層は暗黄褐色の砂質で腐植に乏しい。地下水位やや低く、排水は比較的良い。表土は置換容量は高いが石灰含量少くかなり酸性であり、下層土は砂質のため置換容量低く、斑鉄も少なく、瘠薄である。

布原2統

前述の各河川の曲流する部分の山裾に帯状に分布するものと、台地上の一部に僅かに分布する。いずれも火山灰層は 20~40cm 程度で薄く、下層は埴質な残積性の土じょうである。磷酸吸収係数は全土層かなり高く、容積重は低いが腐植は表層が特に多く C/N 比が高い。又 PH は低く、粘土分が多いためか、置換容量は高いが、塩基飽和度は低い。石灰、堆肥の施用による酸性の矯正、磷酸吸収力の緩和が必要である。

布原3統

火山灰層の最も厚い土じょうで、香々美川の上流吉藤から井村にかけて堆積するも

のと、布原台地の西南端（一部集落として利用）にあるものの二ヶ所のみである。磷酸吸収係数最も高く、容積重も低く、腐植は1、2層最も多い。酸度は下層までかなり高いが、PHは余り低くない。置換容量は最も高いが、Amorphousな火山灰によるものであろう。火山灰の特徴が最も顕著な土じようであるから、磷酸肥料の施用法、増施に注意し石灰による酸度の矯正も必要であろう。

布原4統

布原台地の大半を占めるものと、吉井川上流域上黒木から下黒木の南側にかけて堆積するものとある。1、2層の粘土分かなり多く灰褐色を呈するが、火山灰を下層土（作土下50～80cmまで）にはさむ土じようである。表層（1層）はやや磷酸吸収係数が低いが、2層以下はかなり高くなり、置換容量もかなり高い。粘重で、排水不良なものが多いから暗渠等の排水施設を考慮すべきである。その他は前述の布原3統に準ずる。

III. 2. 2. 久米土じよう

地域：(1)布原台地古川の東部より北方に細長く带状に、三紀層の山沿いに沢田まで延びる。(2)久米町千代を中心に、皿川の北側三紀層の山沿いに、東方日南から西方中北下まで、带状に延びる。(3)中央町、久米町と津山市の境にある流紋岩質の嵯峨山と久米町塚塚（上部古生層）にはさまれた地域。(4)津山市佐良山（流紋岩質）の山裾に带状にある。(5)落合町の上河内、下河内、古見を中心とした山裾にある。(6)久世町茶白山麓。(7)久米町南方中より、亀甲、里公文に至る山間低地。

以上7地域に分布するものが主なもので、(1)以外は、いずれも後述の作楽、田邑、河辺土じように若干の標高差をもつて隣接しているが、境界は不明瞭なものが多い。

地形

大部分が標高130～250mの扇状地をなしており、池がかりの棚田内至は山麓沿いの迂回水路により灌漑されるため比較的湿潤なものが多い。

土じようの特徴、分布

本土じようは低地土じよう中、最も山の影響をうけている土じようであり、いずれも附近山塊の残積土で地下水位のかかなり高い黄褐色土じようである久米2統、3統が大部分を占め、久米1統がわずかにある。

久米1統

上部古生層よりなる久米町稼塚の西側の谷，南方中から亀甲，里公文に至る狭い山間部にある。表層より残積土の性格最も顕著で，土性は埴じよう土，下層土少なく，1 m 以内で母岩に達するもの多く，元来畑として利用されるべき地形を開田し棚田としているため，灌漑水の便悪く，ほとんどが天水田で，旱害をうけ易い。

久米 2 統

流紋岩質の佐良山，巖巖山の山裾に扇状にあるものが大部分で，他に鏡野町香々美，和田と落合町上河内にわずかにある。いずれも本土じよう中では腐植多い方で，粘土含量は高いが，角礫多く，柱状構造がよく発達している。全層にわたつて斑鉄結核多く，1，2 層の層界不明瞭なものが多い。分析成績からは酸度比較的低く，置換容量は高くない。磷酸吸収係数はやや低い。

久米 3 統

本土じよう中最も分布範囲の広いもので，いずれも三紀層又は古生層の残積土を母材とし，山麓に沿つて分布しているため，排水が悪いが，前述の 2 統同様下層土に構造発達しているもの多く，後述の田邑土じようの如くグライ層のあるものはない。布原台地東部山沿いに北方に帯状に延びるものは粘土含量少く，シルト含量が多く砂質埴じよう土ないしじよう土であるが他の地域即ち，佐良山の津山市に面する北側山沿い，久米町の皿川北側に東西に延びるもの，落合町上河内，古見などに分布するものはいずれも粘土の多い埴じよう土である。このうち佐良山沿いの流紋岩質，残積土に由来するものは，角礫が多く，斑鉄にとみ下層土には紫色をおびた暗灰色の土層をはさむものがある。なおこれらはいずれも，1，2 層の層界が明瞭なもの多く久米 2 統と異なる。分析成績は前述の久米 2 統にほぼ準ずる。

以上の久米 2，3 統は，堆厩肥の増施，深耕とともに，排水不良地では暗渠などによる冬期間の積極的排水が必要であろう。

III. 2. 2. 3. 作楽土じよう

地域：前述の久米土じように隣接して分布しているものが多く，

- 1) 津山市戸島から院庄まで延びるものおよび二宮から小田中へ帯状に分布するもの，
- 2) 津山市の北部黒沢山麓の東田辺，西田辺および，一宮，小原に点在するもの，
- 3) 中央町皿川上流の油木，福田，年実，打穴の山沿いに点在するもの，

- 4) 鏡野町河本，真加部，公保田の東部山沿い，寺和田，日下，貞永寺などに点在するもの，
 - 5) 落合町上河内から追分にかけて久米町に至るもの，および久世町北東部山間低地より余野にかけて細長い帯状ないしは樹枝状に分布するもの
 - 6) 久米町南方中より坪井をへて鶴坂に至る久米川南側山沿いに帯状にあもの，
- 以上6地域が主なもので，その他山間低地に部分的に点在するものが多い。

地形：いずれも標高 200~100m の範囲に分布し，ほぼ前述の久米土じょうのように類似した地形に多いが，残積土としての性格はやや弱くなり，崩積土又は沖積土じょうへの遷移型ともいうべきものである。

土じょうの特徴・分布

土じょうの形態は，表層はいずれも灰褐色を呈し，久米土じょうより後述の院庄土じょうに類似しているが，下層土の形態から次の4種に大別される。

- 1) 崩積土に由来する砂礫層が多いもの。
- 2) 流紋岩の崩積土に由来し，紫色を帯びた暗黄褐色を呈するもの。
- 3) 下層も灰褐色を呈するが，崩積土混入し，特に角礫が多い。
- 4) 3) にほぼ類似するも 50cm 位まで礫が多く粘土分が少い。

作業1統

本土じょう中最も広範囲に主として山間の狭小な低地に点在するもので，下層の砂礫層は，細小の角礫に富み，粘土分少なく，附近の山塊が崩積したものと推定され，排水の良い土じょうである。土性は表層はじょう土内至埴じょう土，下層はじょう土内至砂じょう土で，PH 低く，酸度やや高く，腐植含量，置換容量，磷酸吸収係数などは普通で塩基飽和度はやや高い。

なお久米町油木北に分布するものは全層砂じょう土（花崗岩の崩積土）で排水過良で旱害常習地である。

作業2統

佐良山の崩積土を吉井川の沖積土がおおつたものと推定される。分布範囲も佐良山沿いに見られるのみで本土じょう統中では，特殊なものである。特に2層の粘土多く，3層はシルトに富むものが多い。排水はやや良く，PH 低く，酸度はやや高い，置換容量は各層位とも 10~12ml，磷酸吸収係数は小さい方である。

作楽 3 統

三紀層の崩積土を主体としたもので、本土じょう統中では、比較的まとまって、山沿いに帯状に分布する。但し津山市二宮、松原、小田中に分布するものは中生層に由来する崩積土よりなるものである。

地下水位高く、排水やや不良で、暗渠を必要とするものが多い。分析成績によれば、土性は、1、2層はかなり粘土多く、埴じょう土内至軽埴土であるが、3層からはシルト含量多くじょう土質となる。PH やや低く、酸度は高くない。置換容量やや高く、置換性石灰もかなり多い。磷酸吸収係数は普通である。斑鉄は全層に多く、1、2層の層界は不明瞭なものが多い。

作楽 4 統

前述の作楽 1 統と同様、かなり広範囲に分布し、土色、土性はほぼ作楽 3 統に類似するも、分析成績からも明らかなように、表層より礫及び砂が多く、1、2層の層界が明瞭な点が異なる。PH は余り低くなく、酸度はやや低く、置換容量は2、3層やや低く、石灰含量も少なく、磷酸吸収係数は普通である。斑鉄は作楽 3 統同様多い。

III. 2. 2. 4. 田邑土じょう

地域：図幅の東部に偏つて津山市田邑を中心とし、主として上部古生層（一部三紀層）の山にかこまれた山間低地に最も多く分布する。次いで久米町北部山沿い、鏡野町竹田以北および久世町の北部、東部の山間低地に分布するものが多い。その他図幅全域にわたつて点在する。

地形：いずれも山裾に樹枝状に発達した、崩積又は埋積に由来する標高110～200mの扇状地又は低湿地で、水量の少ない池がかりのため冬期間の排水不可能な田、又は天水田が多く、排水不良のため、一毛作田が大部分である。

土じょうの特徴・分布

排水不良のため、いずれもグライ層が発達した、半湿田ないし湿田で、埴質な土じょうが多い。土じょうの形態から、1)最も広範かつ面積も多い、灰色を呈し60～80cm以下グライ層となる礫に富む土じょう。2)表層灰褐色、下層灰色ないし灰青色を呈し、グライ層の出現及び礫は1)とほぼ同様であるが、粘土分がやや少ないもの。3)表層灰内至灰褐色を呈し、30～40cm以下暗灰色のグライ層（一部は黒泥のあるものあり）となる埴質なもの。

以上3種に大別される。

田邑1統

グライ層の位置が比較的深く、土色も下層は青灰色を呈するものもあるが、全搬に灰色を呈し、本土じよう中では最も久米土じようないし作楽土じように近い性格のものである。従つてこれらの土じように隣接し、排水不良な山裾に樹枝状に分布するものが多い。粘土含量は多く土性は埴じよう土乃至軽埴土であるが、角礫に富み、容積重、PHはやや低く酸度は高い。腐植は2層までやや多いがC/N比は普通である。置換容量、磷酸吸収係数は久米、作楽土じように類似するが一部のものは、下層に火山灰混入の疑いのある黒泥を出現するものがある。(久世町台金屋台地の一部)

田邑2統

前述の1統同様グライ層の位置は余り高くないが、1統より粘土含量低く、表層は灰褐色で50cm位までは構造の見られるものもあるが、グライ層は灰内至青灰色を呈する。土性は表層埴じよう土乃至埴土下層は砂質が多い。PHは6に近く、酸度も高くない。置換容量、磷酸吸収係数はほぼ1統に準ずる。

田邑3統

本土じよう中最も標高の低い所に分布し、グライ層の出現位置高く、分布面積は少ない。黒泥状の火山灰混入の疑いのあるものがある(津山市院庄北部から布原台地山裾にかけて分布するもの)。分析成績からは、1統同様粘土多く、PH低く、酸度は高くないが、腐植はやや多く、1、2層の置換容量高く、磷酸吸収係数も高いものが多い。

以上の田邑土じようでは、水稲作上最も大なる阻害因子は排水不良であるが、用水源の確保が先決問題であるため、早急な対策はなし難く、又施肥上窒素のレスポンス低い土じよう多く、堆肥増施効果も期待し難い。

III. 2. 2. 5. 院庄土じよう

地域：図幅の東半部では、吉井川、香々美川の合流点を中心に、吉井川の西岸沿い、即ち鏡野町薪森原、河原、下原と、東岸沿い、即ち鏡野町真加部、吉原、津山市神戸、院庄まで延びる。

更に吉井川が大きくわん曲して東流し、皿川と合流する附近、即ち津山市中島から平福にかけて山沿いに堆積する。

皿川流域では、津山線の西側、津山市高尾に始まって、南へ中央町境、西へ中央町椋田に至る。

その他久米川流域、吉井川上流流域にわずかに散在する。

図幅の西半部では、旭川、目木川の合流地域の北部山沿い一帯と、更に旭川の兩岸、即ち落合町中、古見、田原、開田、上市瀬をへて垂水、法界寺、西原、赤野附近にまで至る。

地形：いずれも標高100～180mの範囲に分布する各河川の氾濫原であり、後述の河辺土じょうとともに、低地を占める土じょうである。

前述の山の影響をうけている久米、作楽、田邑土じょうなどに隣接した凹地が多く、河川の蛇行が、かなり大きく、運積土砂のうち、微細なものが沈底堆積され易い地形が多い。

土じょうの特徴・分布

土じょうの形態は、表層はいずれも灰褐色を呈するが、下層土の形態、主として土性、土色などから次の5種に大別される。

- 1) 黄褐色内至褐色を呈する砂じょう土……………1統
- 2) 灰褐色を呈するじょう土内至砂じょう土……………2統
- 3) 灰褐色を呈し斑鉄の多い埴じょう土……………3統
- 4) 灰褐色を呈し斑鉄やや少く、礫が多いじょう土……………4統
- 5) 青灰色を呈するグライ層を有するもの……………5統

これらの土じょうのうち、5統を除いては、本図幅内に分布する低地（水田）土じょう中では、比較的生産力の高い土じょうが多い。

院庄1統

本土じょう中では最も作楽土じょうに近い形態を有する土じょうで、吉井川がわん曲東流する兩岸の山沿いと、目木川と旭川の合流する附近、即ち台金屋台地沿いの低地に、久世町西口から薬王寺にかけて帯状に分布するものとある。

土性は表層は粘土分多く埴じょう土であるが下層はじょう土内至砂じょう土で砂分が多く、排水は本土じょう中最も良好で、黄褐色内至褐色を呈し、畑に近い性格をもつた水田が多い。容積重はかなり大、PHは比較的高く6に近く、酸度も低い。置換容量は中内至小で、C/N、磷酸吸収係数はいずれも普通である。津山市街地に近い小

田中，二宮，院庄，中島，平福などに分布するものは，裏作にそさい畑として利用されているものが比較的多い特徴である。

院庄 2 統

吉井川と香々美川が合流する附近の，吉井川西岸沿い旧郷村の薪森原，河原，下原にかけて分布するものと，旭川の東岸沿い沖積平野の中心部に一団地をなしてあるものが主なもので，いずれもこの地域では，耕起碎土は比較的し易く，生産力も高い水田が多い。土性は表層は埴じよう土内至じよ土で下層はじよう土内至砂じよう土で砂分が多くなる。全層灰褐色を呈し柱状構造のよく発達したものが多い。PH は表層低く，酸度やや高い。置換容量は本土じよう統中では比較的高く，C/N 比は低く有機物の分解は良好で，磷酸吸収係数はやや高い。鋤床上部がやや漂白した土じようもある。石灰施用による酸性の矯正とともに，堆厩肥増施によつて生産力を向上し易い土じようである。

院庄 3 統

前述の 1，2 統に隣接した地域に分布するもの多く，分布範囲は比較的狭い。地下水位が隣接地よりやや高い土じようが多いが，構造は 2 統同様発達したものが多い。表層より下層まで灰褐色で斑鉄，粘土分多く，埴じよう土である（鋤床附近）。2 内至 3 層に漂白層を有するものもある。PH は全層 6 以内でやや高く酸度は本土じよう統中では低い。置換容量，磷酸吸収係数ともに普通で高くなく，C/N 比は比較的低い。生産力は 2 統同様比較的高い土じようが多い。

院庄 4 統

前述の 2，3 統に隣接して散在するもの多く，全層灰褐色を呈するが，下層が礫に富むじよう土で，2，3 統に比し全層に斑鉄が少い。

後述の河辺土じように最も近縁な土じようと考えられ，上層は粘土分がかなりあるが，シルト含量が本土じよう統中では多い方に属し，PH は 5.4 で容積重やや低く，酸度はかなり高く，置換容量，磷酸吸収係数，C/N 比などは普通である。

生産力は前述の 2，3 統よりやや劣るものと推定される。

院庄 5 統

本土じよう統中最も分布範囲狭く，旭川の東岸沿い，久世町土居，落合町平松，野川，西原に散在するものと，皿川上流中央町，桜田，打穴西に散在するものとする。

いずれも地下水位高く、湧水面 60～90cm で、排水不良の湿性地で、下層 50cm 以下にグライ層を有する土じようである。土性は表層じよう土内至砂じよう土、下層は砂じよう土内至砂土で、細礫内至大礫に傾るとみ、院庄土じよう中では最も生産力劣りかつ一毛田が多い。下層に礫が多いのかかわらず 2、3 層に塊状内至柱状構造をもち、斑鉄も多い土じようが多く、後述の河辺土じよう異なる。

III. 2. 2. 6. 河辺土じよう

地域：図幅の東半部では、吉井川およびこの支流の香々美川、久米川、皿川の各河川沿いに、西半部では旭川および目木川を中心とした河川流域に帯状に分布するものが多い。

地形：いずれも各河川の度重なる氾濫のくりかえし、又は流路変換による旧河床が主体をなしている土じようで、河川により、その堆積物の種類が若干異なるも、多くの自然堤防列を作り、かつ僅少の標高差がみられるものもあるが、概して平坦で、標高は 100～125m 内外の範囲が最も多い。

土じようの特徴・分布

分布する土じようは、その大部分が、河辺 2 内至 3 統である。前者は表層の粘土分がやや多いが、砂礫層が高い所に出現し、河川沿いに細長く帯状に分布する（旧河床土じよう）。後者は粘土分少く、砂質で、砂礫層は 2 統より低く、河川よりやや離れて分布するもの、および河川の上流域の平坦地に分布するものが多い。河辺 1、4 統はこれら 2 者に比し分布範囲は狭く、1 統が 2 統に、4 統が 3 統に対応する地形の所に分布するものが多い。いずれも全層灰褐色で水持ちの悪い水田多く、斑鉄も他の土じように比し少い土じようが多い。

河辺 1 統

分布範囲は比較的狭く、部分的には表層に粘土分が多いものもあるが、概して山間又は山沿いの河川の流れの急な所か、河床の浅い河川流域で、砂礫層が 30～40cm より現れ、下層は崩積性の礫を多少混じた礫土となるものも多く、本土じよう統中で最も変化の多い錯綜した土じようである。表層は粘土分多く埴質であるが、下層はシルト、砂多く、粗粒となる。容積重高く、PH 5.6、酸度低く、置換容量、燐酸吸収係数は表層がやや高いが、下層は低くなる。地下水位は本土じよう中最も低く、漏水田が多く砂礫層上部に漂白層のあるものが多い。

河辺 2 統

各河川の合流点附近より細長く帯状に分布するもの多く、表層はかなり粘土分があるが、下層は前述の 1 統より更に砂分多く砂土内至礫土で、中、大円礫が多く堆積し、斑鉄は全般に少い。河川流路変換又は氾濫のため埋積された旧河床に属する土じようである。分析成績及び砂礫層上部に漂白層の存在する点はほぼ 1 統に準ずるが、漏水は更に大で、大部分が漏水過多の秋落田である。

河辺 3 統

分布は本土じよう中最も広範囲に前述の院庄土じように隣接して存在するもの多く 50～60cm まで砂じよう土内至じよう土で後述の 4 統とともに砂分が多く 60～70% も含まれ、以下は砂礫層で漂白層厚く、斑鉄がかなり下層に見られ、物質の溶脱が最も大なる土じようである。PH は 5.0～5.9、酸度もやや高く C/N 比は全般に低く、置換容量、磷酸吸収係数もかなり低いものが多い。即ち養分の吸収保持力小なる、老朽化した土じよう多く、水持ちも良くない。堆厩肥の増施、深耕客土等による地力増強の最も望まれる土じようである。

河辺 4 統

河川流域の三角州に堆積分布した土じようで前述の 3 統より更に全土層砂分多く、PH 低く酸度も高い。養分供給能力の最も劣る土じようで全層砂じよう土内至砂土で 50～60cm より砂礫層を有する土じようが多い。

Ⅲ. 2. 2. 7. 円宗寺土じよう

地域：香々美川東岸、鏡野町市場、公保田、円宗寺を中心とした平坦な沖積面に最も広く分布し、その他は図葉の東半部において山間の狭い低地に樹枝状に散在するものが僅かにある。

地形：香々美川東岸の沖積地にあるものは標高 160～140m の河川氾濫による低湿地（凹地）であり、山間部に散在するものは、いずれも山麓の扇状低地の排水不良地である。

土じようの特徴・分布

標高 125～180m の範囲にわたって分布し、その成因が若干異なるものがあるが、いずれも附近の水田より凹所内至は排水不良地にあり、火山灰を混じた河川沖積物又は崩積土中に有機物が埋積せられたものが、排水不良のため黒泥化したものを母材と

している。

円宗寺1統

本土じよう統中では、2統とともに鏡野町市場及び円宗寺にまとまつた団地として堆積しているものである。いずれも全層暗灰色を呈し、表層は容積重比較的大で、PHも低くなく、腐植は3層まで多い。置換容量、磷酸吸収係数は3層以下かなり高く、火山灰の混入量大なるものと推定される。土性は表層じよう土、下層は埴じよう土内至じよう土で、排水はやや不良である。暗渠又は明渠による排水、良質堆厩肥の施用等が肝要である。

円宗寺2統

1統に隣接しやや分布範囲が狭く、下層30~60cmに黒泥をはさむ土じようである。堆積時の条件が1統とやや異なり表層灰褐色内至灰色、下層は灰~暗灰色を呈し火山灰の混入割合が比較的少ないものと推定される土じようである。表層の容積重は低く、PHやや低く、酸度高く腐植は各層位とも比較的多く、未熟有機物が堆積していると推定されるが土性は全般に1統より粘土分が多いが下層は少く置換容量は1統ほど高くない。磷酸吸収係数は一般の沖積土じよう和大差なく、排水は1統より不良である。先ず何よりも排水設備の必要性が大である。

円宗寺3統

いずれも山間の狭い排水不良な扇状地に分布するもので、田邑土じようと同様類似した地形の所に多く、粘土分は本土じよう統中最も多い埴質な土じようである。容積重低くPHはやや低く、酸度も高くなく、腐植は1、2統同様各層位とも多く、置換容量も高いが、磷酸吸収係数は余り高くない。いずれも排水不良地で下層は暗灰色を呈するグライとなり、一毛田が多い。

第9表 低地地域の土じよう統別分布面積

統	名	略号	分布面積	同右%
布原土じよう	布原1	N1	414ha	5.95
	布原2	N2	186	2.67
	布原3	N3	29	0.42
	布原4	N4	101	1.45
	計		730	10.49

統 名	略 号	分 布 面 積	同 右 %	
久米土じよう	久米1	Ku1	224ha	3.22
	久米2	Ku2	208	2.99
	久米3	Ku3	538	7.74
	計		970	13.95
作楽土じよう	作楽1	S1	412	5.92
	作楽2	S2	47	0.68
	作楽3	S3	208	2.99
	作楽4	S4	405	5.82
	計		1,072	15.41
田邑土じよう	田邑1	Ta1	430	6.18
	田邑2	Ta2	298	4.28
	田邑3	Ta3	206	2.96
	計		934	13.42
院庄土じよう	院庄1	In1	152	2.18
	院庄2	In2	226	3.25
	院庄3	In3	152	2.18
	院庄4	In4	415	5.96
	院庄5	In5	45	0.65
	計		990	14.22
河辺土じよう	河辺1	Ka1	220	3.16
	河辺2	Ka2	773	11.11
	河辺3	Ka3	649	9.32
	河辺4	Ka4	358	5.14
	計		2,000	28.73
円宗寺土じよう	円宗寺1	E1	92	1.32
	円宗寺2	E2	99	1.42
	円宗寺3	E3	72	1.04
	計		263	3.78
合 計		6,959	100	

III. 3. 代表地点土じょうの断面形態及び理化学分析成績

III. 3. 2. 代表地点土じょうの断面形態

III. 3. 2. 1. 山地、丘陵地地域の土じょう

矢倉山1統(Y1)

地点番号 26

地 形 尾根突地

地 質 古生層、粘板岩

土地利用 アカマツ林

傾 斜 30°

標 高 590m

断面記載

- | | | |
|----|----------|--|
| Ao | 約 10cm | アカマツ、ネジキ、ヤマツツジなどの落葉が厚く堆積し細根が密に分布する。 |
| A | 0～8cm | 灰黄褐色(10YR4/3)、腐植に富む微砂質壤土、やゝ軟、堅果状構造、孔隙あり、下層と判然と区画される。やゝ湿っている、通気性不良、 |
| B | 8～32cm | 褐色(10YR4/4)、微砂質壤土、腐植を含み、礫がみられる、堅果状構造、軟、通気性不良、やゝ湿。下層に漸変する。 |
| C | 32～70cm† | 黄褐色(10YR6/6)、微砂質壤土、石礫多く腐植を含まない、堅果状構造、孔隙なし。 |
- 植 生 アカマツ伐跡、ネジキ、ヤマツツジ(3)、コナラ(2)、リュウブ、ススキ(1)、クロモジ、アベマキ(†)、ナツハゼ、ヤマツツジ、ワラビ、スノキ、イヌツゲ、ヤブツバキ、イヌサンショウ、ナツフジ、ヤブラン、ヘビイチゴ、ヘクソカズラ

矢倉山2統(Y2)

地点番号 107

地 形 中腹急斜面

地 質 上部古生層, 粘板岩

土地利用 針葉樹造林地

傾 斜 30°

標 高 360m

断面記載

A 0 1 ~ 1.5cm

A 1 0 ~ 10cm 暗褐色 (10YR3/3), 壤土, 団粒構造~塊状構造, 中角礫極めて多, 腐植に富み, 孔隙量大, 細根が極めて多, 軟, 湿。通気性大

A 2 10 ~ 22cm 褐色 (10YR4/4), 塊状構造~堅果状構造, 小, 中角礫多く腐植に富む。軟, 可塑性大, 細根が多, 湿, 通気性大, 粘着度大

B 22 ~ 70cm 灰黄褐色 (10YR5/4), 塊状構造~壁状構造, 堅密度軟, 可塑性大。腐植を含む, 埴質壤土, 粘着度大, 根系なし

植 生 ヒノキ, アカメガシワ, クリ, クヌギ, タニウツギ, オカトラノヲ, カンスゲ, ムベ, イヌツゲ, ススキ, アザミ

矢倉山3統 (Y3)

地黒番号 97

地 形 山脚の凹地

地 質 上部古生層の粘板岩, 黒色准片岩

土地利用 針葉樹林地

傾 斜 32°

標 高 330m

断面記載

A 0 ~ 18cm 黒褐色 (10YR3/2), 団粒構造が発達する, 腐植に極めて富む, 小角礫多, 砂質壤土, 堅密度すこぶる鬆, 可塑性小, 粘着度小, A, B層は判然としている。

B 1 18 ~ 43cm 褐色 (10YR4/4), 塊状構造, 腐植を含み, 小中角礫多, 埴

土、堅密度鬆、可塑性中、粘着度中、細中根あり、孔隙に富む、B2層に漸変する。

- B2 43~75cm(+) 黄褐色 (10YR5/6), 塊状構造, 腐植を含み, 大角礫が多, 植土, 孔隙に富む, 堅密度軟, 可塑性大, 細中根あり, ねばりが強い

植 生 ヒノキ(5), アオキ(4), リュウノヒゲ(1), イノコヅチ, オウレン, フェイチゴ, ヌルデ, アカメガンワ, ネムノキ, ヤブムラサキ, (小)

矢倉山3統 (Y3)

地点番号 130

地 形 山脚凹地

地 質 黒色准片岩

土地利用 針葉樹林地 (スギ人工造林地)

傾 斜 15°

標 高 270m

断面記載

- A 0~25cm 黒褐色 (10YR2/2), 腐植に極めて富む, 小角礫が極めて多, 砂質壤土, 団粒構造, 孔隙量極めて大, 緻密度鬆, 細根が極めて多, 粘着度中, 湿, 通気性大, 可塑性中, B層にやゝ判然と推移す。
- A2 25~40cm 暗褐色 (10YR3/3), 団粒~塊状構造, 腐植を含む, 壤土, 小角礫極めて多, 孔隙量中, やゝ堅密で可塑性大, 根系少く粘着度大, 通気性中, 湿
- B 40~60cm(+) 暗褐色 (10YR3/4) をして団粒~塊状構造をなす, 砂質壤土, 小中角礫多い, 断面は堅密で孔隙通気性共に中, 可塑性, 粘着度共に大, 潤, A, A2層は判然としている。

植 生 スギ(5), ミツマタ(5), ツバキ, リュウノヒゲ, フェイチゴ(3), イタドリ, ヨモギ, チヂミザサ(1), イボタノキ, チャ(+))

摺鉢山1統 (Su1)

地点番号 6

地 形 小尾根の凸地

地 質 閃緑花崗岩

土地利用 混交林地

傾 斜 20°

標 高 510m

断面記載

A0 L層約2m

F層1～3cm, H層が僅かにみとめられる。

A 0～3cm 灰黄褐色 (10YR4/3), 細粒状構造, 腐植を含む, 砂質壤土, 孔隙量大, 緻密度鬆, ねばり少くよく乾燥している, 細根が極めて多く菌糸も多く認められる, B層とは判然と区画される。

B 3～20cm 灰黄褐色 (10YR5/4), 堅果状構造, 断面は堅く可塑性小, 砂質壤土, 小角礫を含む, 細中根有, 乾, 通気性中

C 20～35cm 明るい黄褐色 (10YR6/6), 腐植を含まない, 堅果状構造, 鬆, 小角礫がみとめられ断面は堅密, やゝ湿, 細中根あり, 通気性, 粘着度共に小

植 生 アカマツ(5), コナラ, リョウブ, ネジキ(2), ミツバツツジ(3), ナツハゼ(1), クヌギ, ウラジロノキ(1), コバノガマズミ(+), コウヤボウキ, クマザサ, アセビ, ヤマハギ, サルトリイバラ(+)

摺鉢山2統 (Su2)

地点番号 7

地 形 山腹斜面

地 質 花崗閃緑岩

土地利用 広葉樹林地

傾 斜 20°

標 高 550m

断面記載

- A 0 L層約3cm
F層 1cm
H層 2cm 団粒
- A 0～3cm 黒褐色 (7.5YR2/2), 団粒～塊状構造が交錯する。腐植に富む, 砂質壤土, 堅密度や \downarrow 軟, ねばり少くや \downarrow 乾燥している。通気性中, 中根が極めてよく発達する。B層と判然と区画される。
- B 23～51cm 褐色 (7.5YR4/6), 塊状構造が発達する, 中, 大角礫極めて多, 腐植を含む, 砂質壤土, や \downarrow 軟, 可塑性, 粘着度共に中, 湿っており小中根がよく発達している。通気性, 孔隙量中
- C 51～70cm⁺ 明褐色 (7.5YR5/6), 塊状構造, 砂質壤土, 中大角礫多, 腐植を含まない, 断面はや \downarrow 堅く可塑性中, 中～大根がある, 湿, ねばりがある。
- 植 生 コナラ(3), ミズナラ, アベマキ(2), ネムノキ(1), クリ, クロモジ(3), ミツバアケビ, ヤマフジ(+), クマザサ(1)

摺鉢山3統 (Su3)

地点番号 41

地 形 緩かな小谷の山麓凹地

地 質 花崗閃緑岩

土地利用 針葉樹林地

傾 斜 20°

標 高 450m

断面記載

- A 0～12cm 黒褐色 (7.5YR2/2), 団粒状構造が発達する, 軟, 孔隙中, 可塑性大, 腐植に富む, 砂質壤土, 中角礫あり, 小中根がみとめられ, ねばりが強い, 湿, 通気性中, B層にや \downarrow 判

然と推移している。

- B 12~45cm 灰黄褐色 (10YR4/3), 団粒構造, 腐植を含む, 中角礫あり, 埴質壤土, 孔隙量中, 堅密度軟, 可塑性大, ねばり強, 多湿
- C 45~60cm † 明黄褐色 (10YR6/6), 団粒構造, 腐植に乏しく砂質壤土, 礫がみとめられる, 可塑性大, ねばりが強い, 湿, 通気性小, 堅密度軟
- 植 生 ヒノキ(5), タニウツギ(2), クマザサ(3), ヌルデ(1), オンダ(1), ヤブムラサキ, カナクギノキ, クロモジ, ゼンマイ, カンスゲ, ナルコユリ, キイチゴ, カラスウリ, オオドコロ, ヤマフジ, オンダ(†)

森上山1統 (Mo1)

地点番号 403

地 形 東西に延びた尾根

地 質 緑色准片岩

土地利用 広葉樹林地

傾 斜 15~20°

標 高 420m

断面記載

A0 L層約3cm

F層約1cm

HA 0~3cm 黒赤褐色 (2.5Y2/2), 団粒状構造, 孔隙小, 腐植に富む, 埴土, すこぶる鬆, 可塑性中, 細根多, 粘着度中, 湿, B1層に明瞭に推移する。

B1 3~17cm 褐色 (10YR4/4), 堅果状構造が発達する, 堅密度鬆, 可塑性が極めて大, 湿, 細, 中根多, 粘着度大。

B2 17~65cm 黄褐色 (10YR5/8) 堅果状構造, 堅, 中角礫有, 埴土, 可塑性大, 細中根あり, 湿, 粘着度大

C 65~† 大角礫有, 堅果状構造, 堅, 可塑性大, 粘着度大, 湿

植 生 コナラ(3), リョウブ(2), コシアブラ(2), クリ, ヤマハゼ, ネジキ, ヤマフジ, アセビ, ノイバラ(1), クロモジ, イヌツゲ, イチャクソウ, ミツバアケビ(+)

森上山2統 (Mo2)

地点番号 392

地 形 山腹斜面

地 質 黒色准片岩

土地利用 針葉樹林地 (ヒノキ造林地)

傾 斜 30°

標 高 220m

断面記載

A 0～9 cm 暗赤褐色 (5 YR2/3) をして粒状～塊状構造, 可塑性中, 小中角礫多く壤土, 腐植に富む, 孔隙量大, すこぶる鬆, 細根が極めて多い, 粘着度中, 湿, 通気性大

B1 9～51cm 灰赤褐色 (5 YR5/4) をなし粒状～塊状構造をして孔隙量中, 断面は軟かく可塑性大, 細根有, 湿, 通気性中

植 生 ヒノキ(5), クリ, コナラ, ヤマハゼ, ネムノキ(1), ヤマアザミ(1), クマイチゴ(1), アオキ, エゴノキ, タニウツギ, ホウノキ, ヌルデ, イタドリ, クズ, ビロウドイチゴ, ゼンマイ, ヤマツツジ, キクバヤマボクテ, ツルリンドウ(+)

森上山3統 (Mo3)

地点番号 365

地 形 急傾斜地の山麓

地 質 黒色准片岩

土地利用 広葉樹林地

傾 斜 40°

標 高 350m

断面記載

- A 0～40cm 黒褐色 (10YR3/2), 団粒構造が発達する。堅密度鬆, 可塑性大, 湿, 中角礫多, 壤土～砂質壤土, 腐植に極めて富む。粘着度大, 通気性大, B層に漸変する。
- B 40～90cm 暗褐色 (10YR3/4), 団粒～塊状構造, 砂質壤土, 大角礫多, 腐植に富む, 軟, 孔隙量中, 可塑性が大きい。湿, ねばりが強く, 湿, 通気性は良好である。
- 植生 タニウツギ(5), アオキ(2), シケンダ(2), オバコ, イヌツゲ, ウルシ, ミツバ, ドクダミ, チヂミザサ, リュウノヒゲ, クズ, キイチゴ(†)

佐良山1統 (Sa 1)

地点番号 390

地形 尾根の鞍部

地質 石英粗面岩

土地利用 針葉樹林地 (アカマツ天然林)

傾斜 13°

標高 330m

断面記載

- A0 0～4cm 落葉落枝が厚く堆積する。
- HA 0～5cm B層と明瞭に区画される。角礫を多く混えて細根が多い。
- B1 5～18cm 灰黄褐色 (10YR5/4), 細粒構造が発達する。腐植に乏し, 殖質壤土, 軟, 可塑性なくねばりが少ない。細根が多く発達する, 潤
- B2 18～59cm 明るい褐色 (7.5YR5/6) 腐植を含む堅果状構造, 堅, 孔隙なし, 可塑性小, 堆質壤土～殖土, やゝ湿っているが粘着度は小
- 植生 アカマツ(5), ヒサカキ(4), ソヨゴ(2), ネジキ(1), ミツバツツジ(1), アセビ(1), リョウブ, ナツハゼ, ススキ(†)

佐良山2統 (Sa 2)

地点番号 426

地 形 小尾根

地 質 石英粗面岩

土地利用 針葉樹林地 (アカマツ天然林)

傾 斜 17°

標 高 190m

断面記載

- HA 0～4 cm 黒褐色 (10YR2/2), 粒状構造, 鬆, 腐植を含む, やゝ潤
- B1 4～20cm 灰黄褐色 (10YR5/4), 堅果状構造, やゝ堅, 腐植を含まず, 埴質壤土, 円礫を含む
- B2 20～50cm 明黄褐色 (10YR6/6), 堅果状構造, 断面は堅密, 腐植を含まない。円礫多, 埴質壤土
- C 50cm† 埴質壤土
- 植 生 アカマツ(5), リョウブ(†), ミツバツツジ(2), ヒサカキ(2), ナツハゼ(†), アセビ(†), イヌツゲ(†), ネザサ(5), ソヨゴ(3), ネズミサン(4), ヤマハゼ(1), クリ(†), コナラ(†), ネジキ(2), ウラジロノキ(†), サルトリイバラ(†), コウヤボウキ(1)

佐良山3統 (Sa 3)

地点番号 423

地 形 山脚の斜面

地 質 角礫状流紋岩

土地利用 広葉樹林地

傾 斜 33°

標 高 250m

断面記載

- A 0～8 cm 褐色 (7.5YR4/4), 団粒状構造, 極めて軟, 腐植を含む, 埴土, 孔隙に富む, 潤

- B 8~42cm 灰褐色 (7.5YR5/4), 壁状構造, 軟, 埴土, 腐植を含まず,
石礫なし
- C 42~52cm† 明褐色 (7.5YR5/8), 埴質壤土
- 植 生 リョウブ(2), ヒサカキ(2), コナラ(1), コシアブラ(1), クリ(†), アカメガン
ワ(†), ミツバツツジ(1), ナノカマド(†), クロモジ(1), ネザサ(4), ススキ(†),
サルトリイバラ(1), シシガンシラ(1), ヤブコウジ(†), ヤマフジ(1)

貴布禰1統 (Ki1)

地点番号 413

地 形 突出した尾根

地 質 粗粒閃雲花崗岩

土地利用 針葉樹林地

傾 斜 8°

標 高 約240m

断面記載

L層 約2cm

F層 約0.5cm

HA層 約1.5~2cm 黒褐色 (7.5YR2/2), 細粒状構造が発達する。極めて軟,
腐植を含む, 埴質壤土, 細根がよく発達している。

B1 2~16cm 褐色 (7.5YR4/4), 粒状構造, 断面は堅く細小根がよく発
達している。埴質壤土, 小礫を含む, よく乾燥している。

B2層に漸変する。

B2 16~52cm 赤褐色 (5 YR5/6,) 湿, 孔隙がみられず, 断面は堅密であ
る。埴土~埴質壤土

C 52~80cm† 赤褐色 (5 YR5/8), 石礫腐植を含まない。埴土。断面は堅
く根の分布もみられない, 粘りが少くやや湿

植 生 アカマツ(5), ネズミサシ(3), ネジキ(1), ヤマツツジ(3), ソヨゴ(†), ヒサカ
キ(2), イヌツゲ(1), ネザサ(2), ススキ(†), ワラビ(†), サルトリイバラ(†),
ヤマハギ(†), シロバナウンゼンツツジ(†)

貴布禰 2 統 (Ki 2)

地点番号 383

地 形 山脚斜面

地 質 粗粒閃雲花崗岩

土地利用 アカマツ及広葉樹林

傾 斜 25°

標 高 約 160m

断面記載

- L.F層 アカマツ, ヒサカキ, コナラの落葉が僅かに堆積する。
- A 0～2 cm 褐灰色 (7.5YR4/2), 粒状構造が発達する。孔隙に富む, 軟, 可塑性中, 菌糸臭あり。砂質壤土, 細礫に富む, 粘り中, 半湿
- B1 2～40cm 明褐色 (7.5YR5/6), 粒状～塊状構造, 軟, 孔隙中, 砂質壤土をなし, 細礫に富む, 腐植に乏し, 半湿
- B2 40～70cm 灰橙色 (7.5YR6/4), 壁状構造, 軟, 砂質壤土, 細礫に富む, 湿, 粘着度中, 腐植なし
- C 70～85cm⁺ 淡橙色 (7.5YR8/6), 壁状構造, 砂質壤土, 巨礫が多いが断面は軟かい, 可塑性中, 湿, 粘着度中

植 生 アカマツ(2), コナラ(2), リョウブ(2), ネザサ(3), シシガンラ(+), ススキ(1)

貴布禰 3 統 (Ki 3)

地点番号 414

地 形 谷筋の斜面

地 質 粗粒閃雲花崗岩

土地利用 広葉樹林地

傾 斜 12°

標 高 約 170m

断面記載

- A 0～9 cm 暗褐色 (10YR3/3), 団粒～塊状構造, 腐植に富み, 埴質壤

土、孔隙に富み断面は軟かい。細小根多、湿。

- B 9~70cm 黄褐色 (10YR5/6), 腐植を含まず, 壁状構造, やゝ軟, 中小根があり砂質壤土, 小礫が極めて多い, 湿, 70cm のところに鉄の集積層がみられる。
- 植 生 クリ(1), ノグルミ(1), アカマツ(†), クヌギ(†), ヌルデ(1), ネムノキ(†), タニウツギ(†), ヒサカキ(†), シノブササ(5), サルトリイバラ(†), ネザサ(1), カンスゲ(1), ヤマツツジ(†), ススキ(†), イヌツゲ(†), シシガシラ(†), リュウノヒゲ(†), ヤブイバラ(†), スイカズラ(†), アケビ(†)

神楽尾山 1a 統 (K1a)

地点番号 245

地 形 突出した尾根

地 質 黒色准片岩

土地利用 針葉樹林地

傾 斜 20°

標 高 約 170m

断面記載

- M層 約 1 cm α 型の菌糸網層
- HA層 0~2 cm 灰褐色 (7.5YR5/3), 細粒状構造が発達する。極めて軟かく腐植は含む程度, 微砂質壤土
- B1 2~40cm 褐色 (7.5YR4/6), 堅果状構造, やゝ断面は堅く乾燥している。腐植に乏しく角礫を含む。
- B2 40~70cm 橙色 (5 YR6/8), 堅果状構造, 断面は堅く腐植に乏しい。角礫が多い。
- 植 生 アカマツ(5), ヒノキ(†), リョウブ(1), ネジキ(1), ソヨゴ(2), ヒサカキ(2), クリ(†), コナラ(†), ナツハゼ(†), ネムノキ(†), ネズミサシ(1), コバノミツバツツジ(1), ヤマツツジ(†), ネザサ(1), ワラビ(†), イヌツゲ(†)

神楽尾山 1b 統 (K1b)

地点番号 252

地 形 尾根の肩

地 質 黒色准片岩

土地利用 針葉樹林地

傾 斜 12°

標 高 約 190m

断面記載

- | | | |
|-----|-----------|---|
| HA層 | 0～4cm | 暗褐色 (10YR3/3), 細粒状構造が発達する。孔隙に頗る富み, 極めて軟, 腐植に富む, 半乾, 礫を含まず, 壤土, B1層に明瞭に推移する。 |
| B1 | 4～34cm | 褐色 (10YR4/4), 腐植を含む程度。埴土, 半湿, 細粒状構造が発達し, HA, B1層共に細根が多く分布する。孔隙有, 堅密度極めて軟 |
| B2 | 34～72cm | 明黄褐色 (10YR5/6), 腐植を含まない。壁状構造をなし, やゝ堅い, 埴土, 礫を含まない, 中根が認められる。粘りが大きく湿っている。 |
| C | 72～90cm † | 明褐色 (7.4YR5/8), 壁状構造, 湿, 粘着度大, 腐植・礫・根を含まない, 埴土。 |

植 生 アカマツ(5), ソヨゴ(2), コナラ(1), クリ(†), クヌギ(5), リョウブ(†), ヤマツツジ(†), ヤマハギ(†), ネジキ(5), シロバナウンゼンツツジ(†), ヒサカキ(2), イヌツゲ(1), ネズミサン(†), ネザサ(5), サルトリイバラ(†)

神楽尾山 1c 統 (K1c)

地点番号 195

地 形 谷筋の中腹

地 質 黒色准片岩

土地利用 針葉樹林地

傾 斜 29°

標 高 約 230m

断面記載

- A 0～4 cm 褐色 (7.5YR4/3), 腐植を含み, 細, 中角礫が多く埴質壤土, 団粒～塊状構造, 孔隙にすこぶる富む, 軟かく細小根が多い, 粘り可塑性共に小, やゝ乾, B 1 層に判然と推移する。
- B 1 4～19cm 明褐色 (7.5YR5/8), 腐植に乏しい, 小角礫が多く埴質壤土, 塊状構造, 孔隙に富む, 断面はやゝ堅く, 可塑性, 粘着度共に小, やゝ乾燥し細中根がある。
- B 2 19～65cm 明橙褐色 (7.5YR6/8), 塊状構造, 軟かく小角礫に富む, 砂質壤土, 孔隙量大, 可塑性, 粘着度共に大きく湿っている。
- C 65～70cm⁺ 明橙褐色 (7.5YR6/6), 壁状構造, 軟, 半湿
- 植 生 アカマツ(3), コナラ(3), ヒサカキ(4), シャンシャンボ(†), ミツバツツジ(†), ワラビ(1), イヌツゲ(1), サルトリイバラ(†), ネザサ(5), ヤブイバラ(†), シンガシラ(1)

神楽尾山 2a 統 (K2a)

地点番号 147

地 形 鈍頂な尾根

地 質 第三紀の頁岩, 砂岩互層

土地利用 針葉樹林地 (アカマツ天然林及びヒノキ造林地)

傾 斜 13°

標 高 約 200m

断面記載

- HA層 0～2 cm ヒノキ, アカマツ, クリの落葉落枝が堆積
褐色 (10YR4/4), 粒状構造, 孔隙に富む, 軟
- B 1 2～20cm 黄褐色 (10YR5/6), 腐植を含む, 細粒状～粒状構造, 軟, 埴質壤土, 小礫がある。小中根が多い。やゝ乾燥している。
- B 2 20～35cm 明黄褐色 (10YR6/6), 腐植を含む, 埴質壤土, 塊状構造をして小礫有, 堅, 小中根が分布する。乾燥している。
- C 35～60cm⁺ 黄橙色 (10YR7/8), 大礫が多く混入する。孔隙なく断面は

堅密である。可塑性小

植 生 ヒノキ(4), アカマツ(3), クリ(2), コナラ(2), ネジキ(2), ヤマツツジ(1), ナツハゼ(1), ヒサカキ(1), アセビ(+), ススキ(+), サルトリイバラ(+)

神楽尾山 2b 統 (K2b)

地点番号 316

地 形 中腹斜面

地 質 第三紀の砂岩, 頁岩互層

土地利用 採草地

傾 斜 25°

標 高 約 200m

断面記載

- | | | |
|---|---------|--|
| A | 0～4 cm | 黒褐色 (10YR3/2), 粒状～団粒構造が交錯する。腐植に富み, 埴土ないし埴質壤土, 孔隙中, やゝ軟, 可塑性中, 粘着度中, ササの根が多く分布する。 |
| B | 4～35cm | 褐色 (10YR4/4), 腐植を含む, 埴質壤土, 団粒～塊状構造, 孔隙中, やゝ軟, 可塑性大, 半乾, 通気性中, 小根を認む。 |
| C | 35～50cm | 黄褐色 (10YR5/8), 腐植に乏しい, 壤土, 孔隙少く堅い, 半湿, 可塑性, 粘着度共に小 |

植 生 コナラ(3), ヤマツツジ(3), クリ(1), ナラガシワ(+), ネザサ(5), ワラビ(3), ススキ(2), リュウノヒゲ(1)

神楽尾山 2c 統 (K2c)

地点番号 318

地 形 山脚

地 質 第三紀の頁岩, 砂岩互層

土地利用 広葉樹林地

傾 斜 25°

標 高 約 190m

断面記載

- | | | |
|---|---------|--|
| A | 0～3cm | 暗褐色 (10YR3/4), 団粒構造, 腐植を含む, 埴質壤土, 軟, 可塑性・粘着度共に大, 通気性中, 細根あり。 |
| B | 3～22cm | 黄褐色 (10YR5/8), 腐植に乏しい, 埴質壤土, 団粒～塊状構造, 孔隙量中, 軟, 可塑性, 粘り共に大, 細根を認む, C層と判然と区画される。 |
| C | 22～45cm | 橙色 (7.5YR7/8), 埴土, 堅果状構造, 堅く根の分布がない。 |
- 植 生 クリ(3), ヤマハゼ(2), ヒサカキ(2), ススキ(3), ネザサ(3), ヤマツツジ(1), カンスゲ(2), ナラガンワ(†)

二上山統 (Hu)

地点番号 259

地 形 尾根の鞍部

地 質 黒色千板岩

土地利用 針葉樹林地

傾 斜 0

標 高 約 200m

断面記載

- | | | |
|---|---------|--|
| A | 0～12cm | 黒赤褐色 (5 YR3/3), 埴質壤土, 中角礫あり, 腐植を含む, 団粒～塊状構造, 可塑性大, 孔隙量大, 小中根多く粘りが強い。半乾, 通気性大, B層へ漸変する, 断面は軟かい。 |
| B | 12～36cm | 赤褐色 (2.5YR4/6), 埴質壤土, 大角礫多く腐植を含む, 塊状構造, 孔隙量中, やゝ軟く中根が認められる。半乾, 通気性, 粘着度共に中 |
- 植 生 アカマツ(5), クリ(1), クヌギ(1), コナラ(†), ヌルデ(†), ヤマハギ(†), カラマツソウ(†), ススキ

III. 3. 2. 2. 低地地域の土じょう

布原1統 (N1)

地点番号 1196

位置 苫田郡奥津町上黒木

傾斜 平坦 標高 240m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～17cm 赤味を帯びた黒褐色，(5 YR2/2,)腐植に富む壤土，斑紋結核なし，密度，ねばりとともに中，湿。
- 17～25cm 黒色，(7.5 YR2/2,) 壤質砂土，にぶい黄赤色 (7.5 YR5/6) の糸根状斑あり，密度中ねばり小，湿。
- 25cm以下 赤褐色，(5 YR5/8,) 砂土，雲状斑に富み，糸根状斑あり，密度中，ねばり小，湿。

布原1統 (N1)

地点番号 1509

位置 苫田郡富村西谷1472

傾斜 平坦 標高 440m

土地利用 一毛作田

断面記載

- 0～20cm 黒褐色，(10 YR3/2,) 腐植に富む砂質埴壤土，細角礫あり，微粒状構造や Δ 発達，密度小，ねばり中，湿り潤。
- 20～25cm 暗黄褐色，(10 YR4/4,) 砂壤土，小角礫あり，糸根状斑含む，密度中，ねばり小，湿り湿。
- 25～50cm 暗黄褐色，(10 YR4.5/3) 壤土，小角礫含む塊状構造や Δ 発達，結核あり，糸根および点状斑あり，密度中，ねばり中，湿り湿。
- 50cm以下 黄味灰色，(10 YR5/3) 砂土，小円礫含む，密度小，ねばりなし，湿り湿。

布原2統 (N2)

地点番号 1133

位置 苫田郡鏡野町古川

傾斜 平坦 標高 150m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～11cm 黒褐色，(10YR3/2) 腐植を含む軽埴土，密度17，ねばり小，湿り湿。
- 11～20cm 黒褐色，(10YR3/2,) 腐植含む軽埴土，にぶい赤褐色 (10YR4/6) の糸根および膜状斑含む，下層に赤褐色 (5 YR3/5) の糸根状斑すこぶる富む，塊状構造，密度22，下層24，ねばり小，湿り湿。
- 20～28cm 黒褐色，(10YR3/2,) 腐植を含む軽埴土暗黄褐色 (10YR4/4) の糸根状斑含む，塊状構造，小孔隙含む，密度，ねばりともに小，湿り湿。
- 28～36cm 黒色，(10YR1/2,) 腐植に富む軽埴土，暗黒褐色 (10YR3/3) の雲状斑に富む，小孔隙含む，密度，ねばりともに中，湿り湿。
- 36～81cm 暗黄褐色，(10YR5/4,) 腐植を含む微砂質埴土，黄褐色 (10YR5/8) 黒褐色 (10YR3.5/2) の雲状斑含み，暗黄褐色 (10YR3/4,) 黒褐色 (10YR3/2) の糸根状斑あり，密度，ねばりともに大，湿り湿。
- 81cm以下 灰黄褐色 (2.5Y6/3,) 微砂質埴壤土，黄褐色 (10YR5/6～6/6,) 赤褐色 (7.5YR5/6, 5/8) の雲状斑に富む，密度大，ねばり中，湿り湿。

布原2統 (N2)

地点番号 1210

位置 真庭郡久世町薬王寺

傾斜 平坦標高 170m

土地利用 二毛作田 (棚田)

断面記載

- 0～12cm 暗黒褐色 (2.5Y3.5/2,) 腐植を含む軽埴土，細小礫あり，密度 16，ねばり小，湿り湿。
- 12～16cm 暗黒褐色 (2.5Y3/4,) 腐植を含む軽埴土，塊状構造，赤褐色 (7.5YR4/6) の糸状斑富み，黄褐色 (10YR5/6) の雲状斑含み，暗赤褐色 (7.5YR5/4) の点状斑あり，密度，ねばり中，湿り湿。

16～76cm 黒褐色 (10YR3/2,) 軽埴土, 塊状構造, 細孔隙含む, 密度23, ねばり中, 湿り湿。

76cm以下 黄褐色 (10YR5/8,) 微砂質埴壤土, 細孔隙含む, 密度, ねばりともに大, 湿り多湿, 湧水面 80cm。

布原 3 統 (N3)

地点番号 1139

位置 苫田郡鏡野町古川

傾斜 平坦 標高 145m

土地利用 二毛作田

断面記載

0～13cm 黒色 (7.5YR1/2,) 腐植に富む埴壤土, 密度14, ねばり小, 湿り湿。

13～23cm 黒色 (7.5YR1/2,) 腐植に富む微砂質埴土, 塊状構造, 赤褐色 (7.5YR4/6) の糸根状含み, 赤褐色 (5 YR4/7) の膜状斑あり, 密度21, ねばり小, 湿り湿。

23～35cm 黒色 (7.5YR1/2,) 腐植を含む埴壤土, 暗黄褐色 (7.5YR3/4) の糸状斑あり, 密度19, ねばり中, 湿り湿。

35～62cm 黒褐色 (7.5YR2.5/2,) 微砂質埴壤土, 暗黄褐色 (10YR5/4) の糸根状斑あり, 下層に赤褐色 (7.5YR6/8) および黄褐色 (10YR6/6) の雲状斑含む, 細小孔隙含む, 密度大, ねばり中, 湿り多湿, 湧水面73cm。

布原 4 統 (N4)

地点番号 1132

位置 苫田郡鏡野町布原

傾斜 平坦 標高 160m

土地利用 二毛作田

断面記載

0～12cm 暗黒褐色 (2.5Y3.5/2,) 軽埴土, 腐植含む, 斑紋結核なし, 密度, ねばりともに小, 湿り湿。

- 12～26cm 暗黒褐色(2.5Y3/2～3.5/2,) 軽埴土, 腐植含む, 塊状構造, 黄褐色(10YR 4/6)の糸根状斑含む, 暗黒褐色(10YR1/4)の膜状斑あり, 細小孔隙含む, 密度18, ねばり少, 湿り湿。
- 26～37cm 黒色(10YR2/2,) 微砂質埴壤土, 腐植含む, 塊状構造, 黒褐色(10YR3.5/2)の糸根状斑含む, 細小孔隙含む, 密度22, ねばり小, 湿り湿。
- 37～72cm 黒色(10YR1/2,) 微砂質埴壤土ないし壤土, 腐植含む, 塊状構造, 黒褐色(10YR3/2)の糸根状斑あり, 小孔隙含む, 密度大, ねばり小, 湿り湿。
- 72cm以下 黒色(10YR2/2ないし3/2,) 微砂質壤土, 腐植あり, 暗灰褐色(10YR4/2)の糸根状斑あり, 細小孔隙含む, 密度大, ねばり中, 湿り湿。

久米1統 (Ku1)

地点番号 1320

位置 久米郡久米町一色森脇517

傾斜 平坦

土地利用 二毛作水田(棚田)

断面記載

- 0～12cm 暗灰褐色(10YR4/2,) 埴壤土, 腐植含む, にぶい赤褐色(10YR4/6,) 糸状斑含む, 密度23, ねばり小, 湿り半乾。
- 12～21cm 灰褐色(10YR6/2,) 埴壤土, 細角礫含む, 暗黄褐色(10YR5/4)の糸状, にぶい赤褐色(10YR4/6)の雲状および膜状斑を含む, 密度20, ねばり中, 湿り半乾。
- 21～32cm 黄褐色(10YR6/6,) 埴壤土, 細角礫富む, 斑紋結核なし, 密度22, ねばり中, 湿り半乾。
- 32cm以下 母岩, 水稲根は34cmまで。

久米2統 (Ku2)

地点番号 1102

位置 苫田郡鏡野町香々美

傾斜 平坦 標高 160m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～13cm 灰褐色（5 Y5/2,）埴壤土，細角礫あり，腐植含む，灰褐色（2.5Y5/6）の糸状および膜状斑あり，密度16，ねばり中，湿り湿。
- 13～17cm 灰褐色（5 Y6/2,）軽埴土，細角礫あり，柱状構造，灰黄褐色（2.5Y5/4）および黄褐色（10YR5/6）の糸根状斑含む，密度18，ねばり中，湿り湿。
- 17～28cm 灰褐色（5 Y6/2）と黄褐色（10YR6/8）の混色，軽埴土，細角礫含む，柱状構造，暗赤褐色（7.5YR5/4）の糸根状斑含む，細孔隙含む，密度20，ねばり大，湿り湿。
- 28～43cm 灰褐色（2.5Y6/2,）埴壤土，細角礫含む，柱状構造，暗灰褐色（10YR4/2）の糸根状斑富み，黄褐色～暗黄褐色（10YR5/6, 4/4）の点状斑あり，密度，ねばりともに大，湿り湿。
- 43～79cm 灰褐色（2.5Y6/2,）砂質埴壤土，細角礫含む，柱状構造，黒褐色（10YR3/2）の粒状結核あり，暗黄褐色（10YR4/4）の膜状斑および褐色及び黄褐色（10YR4/2, 5/6）の点状斑含む，密度，ねばりともに大，湿り湿。
- 79cm以下 暗黄褐色（10YR4.5/4,）埴壤土，細角礫含む，黒色（10YR2/2）の角塊状の結核上層に富む，密度，ねばりともに大，湿り湿。

久米3統（Ku3）

地点番号 1124

位置 苫田郡鏡野町沖

傾斜 平坦 標高 140m

土地利用 二毛作田（棚田）

断面記載

- 0～12.5cm 灰褐色（10YR4/2,）砂質埴壤土，腐植含む，（10YR5/4）の膜状斑含む，密度12，ねばり小，湿り湿。
- 12.5～16.5cm 黄褐色（10YR5/8,）壤土，柱状構造，下層やや漂白，赤褐色（5 YR4/8）の糸根状斑富む，小孔隙含む，密度19，ねばり中，湿り湿。
- 16.5～31cm 灰褐色（10YR5/2,）微砂質壤土，柱状構造，黄褐色（10YR3/4）の脈状

および糸根状斑に富む，小孔隙含む，密度24，ねばり中，湿り湿。

31～51cm 灰褐色（10YR4.5/2,）微砂質埴壤土，柱状構造（10YR4/4）の糸根状斑に富み，雲状斑あり，小孔隙含む，密度大，ねばり中，湿り湿。

51cm以下 暗灰色（7.5Y4/2,）微砂質埴壤土，暗黄褐色（10YR3.5/5）の糸根状斑含み，赤褐色（7.5YR4/6）の脈状斑富む，密度，ねばりともに大，湿り多湿。湧水面70cm

作楽1統（S1）

地点番号 1302

位置 久米郡中央町打穴下

傾斜 平坦 標高 140m

土地利用 二毛作田

断面記載

0～15cm 灰褐色（2.5Y5/2,）埴壤土，腐植含む，斑紋結核なし，密度9，ねばり中，湿り半乾。

15～22cm 灰褐色（2.5Y5/2,）埴壤土，赤褐色（7.5YR4/6）の糸状斑含む，密度15，ねばり中，湿り半乾。

22～27cm 暗黄褐色（10YR5/4,）壤土，赤褐色（7.5YR4/6）の糸根状斑あり，密度16，ねばり中，湿り湿。

27cm以下 灰褐色（2.5Y6/2,）砂壤土，下層は砂土，小角礫に富む，密度小，ねばりなし，湿り湿。

作楽2統（S2）

地点番号 1021

位置 津山市一方

傾斜 平坦 標高 10.1m

土地利用 二毛作田

断面記載

0～13cm 暗灰褐色（2.5Y4/2,）埴壤土，腐植あり，赤褐色（7.5YR5/8）の糸根状

および膜状斑あり，密度19，ねばり小，湿り湿。

- 13～20cm 黄褐色 (10YR5/8,) 埴土，赤褐色 (7.5YR5/8) の糸根状斑含む，密度18，ねばり中，湿り湿。
- 20～34cm 灰褐色 (2.5Y5/2) 微砂質壤土，柱状構造，細孔隙含む，黄褐色 (10YR5/8) の雲状斑すこぶる富み，黄褐色 (10YR4/6) の点状斑富む，密度23，ねばり中，湿り湿。
- 34～74cm 灰褐色 (2.5Y5/2) 埴壤土，上層柱状構造，細孔隙含む，暗赤褐色 (7.5YR4/4) の点状斑富み，黒褐色 (7.5Y2/2) の結核含む，密度大，ねばり中，湿りは上層は湿，下層は多湿。
- 74cm以下 灰褐色 (2.5Y5/2,) 砂壤土，暗赤褐色 (7.5YR4/4) の点状斑含む，密度中，ねばり小，湿り潤，湧水面96cm。

作楽3統 (S3)

地点番号 1126

位置 吉田郡鏡野町河本 (旧郷村)

傾斜 平坦 標高 125m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～10cm 灰褐色 (10YR4/2,) 埴壤土，腐植含む，暗赤褐色 (7.5YR4/4) の糸根状斑あり，密度14，ねばり中，湿り湿。
- 10～23cm 灰褐色 (10YR5/2,) 下層は黄褐色 (10YR5/6,) 軽埴土，塊状構造，小孔隙含む，赤褐色および暗赤褐色 (7.5YR4/6, 3/2) の糸根状斑富み，赤褐色 (5YR4/8) の膜状および暗赤褐色 (7.5YR4/6) の糸状斑あり，密度18，ねばり大，湿り湿。
- 23～50cm 灰褐色 (10YR5/2,) 微砂質壤土，塊状構造，小孔隙すこぶる富む，褐色および赤褐色 (7.5YR3/4, 4/6) の点状および赤褐色 (7.5YR4/6) の糸根状斑富み，赤褐色 (7.5YR5/6) の膜状斑あり，密度20，ねばり大，湿り湿。
- 50～72cm 灰褐色 (10YR4/2,) 軽埴土，細角礫富む，赤褐色 (7.5YR5/8) の糸根状斑含む，密度，ねばりともに大，湿り湿。

72cm以下 灰赤褐色 (7.5YR5/8,) 埴壤土, 細角礫すこぶる富む, 斑紋結核なし, 密度, ねばりともに中, 湧水面91cm。

作楽 4 統 (S4)

地点番号 1104

位置 苫田郡鏡野町日下

傾斜 平坦 標高 170m

土地利用 二毛作田 (棚田)

断面記載

- 0～13cm 灰褐色 (2.5Y4/2,) 埴壤土, 細礫含む, 腐植含む, 斑紋結核なし, 密度13
ねばり中, 湿り湿。
- 13～28cm 黄褐色 (10YR5/8,) 埴壤土, 細礫含む, 塊状構造, 赤褐色 (7.5YR4/6) の
糸根状斑富む, 密度20, ねばり大, 湿り湿。
- 28～47cm 灰褐色 (2.5Y4/2,) 壤土, 細礫富む, 塊状構造, 暗灰褐色 (10YR3.5/2)
の点状斑富み, 約5mm径の固い結核あり, 細孔隙含む, 密度20, ねば
り中, 湿り湿。
- 47～60cm 灰褐色 (2.5Y5/2,) 埴壤土, 塊状構造, 暗灰褐色 (10YR3.5/2) の点状斑
すこぶる富む, 2～3mm径の結核含む, 細孔隙含む, 密度大, ねばり中,
湿り湿。
- 60～82cm 灰褐色 (2.5Y4/2,) 埴壤土, 暗灰褐色 (10YR3.5/2) の点状斑富み, 灰黄
色 (7.5Y4/6) の脈状斑あり, 2～3mm径の結核あり, 細孔隙含む, 密
度大, ねばり中, 湿り湿。
- 82cm以下 灰褐色 (2.5Y5/2,) 砂質埴壤土, 暗赤褐色 (7.5YR4/4) の点状および膜
状斑あり, 細孔隙含む, 密度大, ねばり中, 湿り湿。

田邑 1 統 (Ta1)

地点番号 1215

位置 真庭郡久世町目木上口

傾斜 平坦 標高 160m

土地利用 一毛作田

断面記載

- 0～14cm 暗灰褐色(10YR3.5/2,)軽埴土, 細小礫含む, 腐植含む, 暗褐色(10YR3/4)の膜状斑あり, 密度13, ねばり中, 湿り湿。
- 14～18cm 灰褐色(10YR4.5/2,)埴壤土, 細小礫含む, 赤褐色(2.5YR3/6)の糸根状斑含む, 密度19, ねばり中, 湿り湿。
- 18～30cm 暗褐色(7.5YR3/4,)軽埴土, 細小礫富む, 塊状構造, 細孔隙含む, 褐色(5YR3/4)の糸状斑含む, 暗赤褐色(5YR3/6)の脈状斑あり, 密度20, ねばり中, 湿り湿。
- 30～46cm 暗灰褐色(7.5YR2/2,)埴壤土, 細小礫富む, 塊状構造, 灰褐色(7.5YR3/2)の膜状斑富み, 結核あり, 密度大, ねばり中, 湿り湿。
- 46～64cm 暗灰色(5YR2/4,)埴壤土, 細小礫富む, 暗黄褐色(10YR4/4)の脈状斑あり, 結核あり, 密度大, ねばり中, 湿り湿。
- 64～82cm 暗灰色(2.5Y2/2,)埴壤土, 暗黄褐色(10R3/4)の脈状斑富み, 赤褐色(2.5YR4/6)の管状斑あり, 密度, ねばりともに大, 湿り多湿, グライ層。
- 82cm以下 暗灰色(2.5Y2/2,)軽埴土, 斑紋結核なし, 密度小, ねばり中, 湿り潤, 湧水面82cm, グライ層。

田邑1統 (Ta1)

地点番号 1340

位置 津山市上田邑

傾斜 平坦 標高 105m

土地利用 一毛作田

断面記載

- 0～11cm 灰褐色(2.5Y4/2,)埴壤土, 腐植含む, 細角礫あり, 赤褐色(7.5YR4/6)の糸状斑含む, 密度13, ねばり大, 湿り湿。
- 11～15.5cm 帯青灰色(7.5Y4/2,)埴壤土, 細角礫あり, 塊状構造, 赤褐色(5YR4/6)の糸状, 管状, 暈管状斑紋含む, 密度18, ねばり大, 湿り湿。
- 15.5～34cm 灰色 V. S. 5, 埴壤土, 細角礫あり, 塊状構造, 赤褐色(7.5YR4/6)の

糸状、管状、暈管状斑含む、黒褐色(10YR2/2)の結核あり、密度18、ねばり大、湿り湿。グライ層。

34~85cm 灰黄褐色(10YR6/4,)微砂質埴土、細小孔隙含む、黄褐色(10YR5/6)の雲状および管状斑含む、密度20、ねばり大、湿り湿。

85cm以下 帯青灰色(10Y5/2,)壤土、斑紋結核なし、密度、ねばりともに中、湿り潤、湧水面95cm、グライ層。

田邑2統 (Ta1)

地点番号 1031

位置 津山市院庄

傾斜 平坦 標高 105m

土地利用 一毛作田

断面記載

0~13cm 灰褐色(2.5Y4/2,)埴壤土、腐植含む、暗黄褐色(10YR4/6)の糸根状および暗灰黄色(2.5Y4/4)の膜状斑あり、密度11、ねばり小、湿り湿。

13~30cm 黄褐色(10YR5/6,)微砂質壤土、柱状構造、細小孔隙含む、灰黄褐色(2.5Y4/6)の点状斑含む、黄褐色(10YR3/4)の糸根状斑あり、密度19、ねばり大、湿り湿。

30~50cm 灰褐色(7.5YR4/2,)軽埴土、柱状構造、細小孔隙含む、褐色(7.5YR3/4)の点状および暗灰褐色(7.5YR3/2)の糸根状斑含む、黄褐色(7.5YR5/8)の管状斑および5YR2/4の結核あり、密度17、ねばり大、湿り湿。

50~78cm 灰褐色(7.5YR4/2,)軽埴土、細小礫含む、黄褐色(7.5YR5/8)の管状斑、暗褐色(7.5YR3/2)の糸根状斑およびの結核を含む、密度、ねばりともに大。

78~90cm 灰色 V. S. 4, 砂質埴土、細小礫含む、斑紋結核なし、密度中、ねばり大、湿り多湿、グライ層。

90cm以下 帯青灰色 V. S. 5, 壤質砂土、細中礫すこぶる含む、斑紋結核なし、密度ねばりともに小、湿り潤、グライ層。

田邑3統 (Ta3)

地点番号 1013

位置 津山市戸島

傾斜 平坦 標高 120m

土地利用 一毛作田

断面記載

- 0～10cm 灰褐色 (2.5Y5/2,) 軽埴土, 腐植含む, 暗黄褐色 (10YR4/6) の糸根状斑に富み, 膜状斑含む, 密度9, ねばり大, 湿り多湿。
- 10～23cm 黄灰色 (5Y4/2,) 軽埴土, 腐植含む, 暗黄褐色 (10YR4/6) の糸根状斑含む, 膜状斑あり, 密度10, ねばり大, 湿り多湿。
- 23～40cm 暗黄灰色 (5Y3.5/2,) 微砂質埴土, 腐植含む, 斑紋結核なし, 密度13, 湿り多湿, グライ層。
- 40cm以下 暗灰青色 (2.5Y2/2,) 微砂質埴土, 黒泥含む, 斑紋結核なし, 密度中, 湿り潤, 湧水面57cm, グライ層。

院庄1統 (In1)

地点番号 1005

位置 津山市院庄

傾斜 平坦 標高 110m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～14cm 灰褐色 (2.5Y4/2,) 埴壤土, 腐植含む, 斑紋結核なし, 密度15, ねばり小, 湿り半乾。
- 14～37cm 暗黄褐色 (5YR3/4,) 埴壤土, 細孔隙含む, 暗赤褐色 (10YR4/6) の雲状および暗褐色 (7.5YR3/2) の点状斑を含み, (7.5YR2/2) の不定形結核あり, 密度24, ねばり中, 湿り湿。
- 37～55cm 暗赤褐色 (5YR3.5/4,) 砂壤土, 細孔隙含む, 暗褐色 (7.5YR3/2) の点状斑および黒褐色 (7.5YR2/2) の結核あり, 密度23, ねばり小, 湿り湿。
- 55cm以下 暗赤褐色 (5YR3.5/4,) 砂壤土, 暗褐色 (7.5YR4/3) の雲状斑含む, 密度,

ねばりともに小，湿り湿。

院庄2統 (In2)

地点番号 1131

位置 苫田郡鏡野町下原

傾斜 平坦 標高 125m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～12cm 灰褐色(2.5Y5.5/2,) 埴壤土，腐植含む，赤褐色(5YR4/8, 7.5YR4/6)の膜状斑含む，密度16，ねばり中，湿り湿。
- 12～18cm 灰褐色(2.5Y5/2,) 軽埴土，明赤褐色(5YR4/8)の糸状斑含む，密度21，ねばり中，湿り湿。
- 18～38cm 灰褐色(2.5Y5/2,) 微砂質壤土，柱状構造，細孔隙含む，上層に明赤褐色(5YR4/8)の糸根状斑，明黄褐色(7.5YR6/8)の管状斑を含む，下層に灰褐および黒褐色(7.5YR4/2, 2/2)の点状斑，黄褐および灰褐色(7.5YR5/8, 4/4)の膜状斑含む，密度24，ねばり中，湿り湿。
- 38～70cm 暗灰褐色(2.5Y6/2,) 微砂質埴壤土，柱状構造，細孔隙含む，上層に灰褐色(7.5YR4/2)の糸根状斑含み，黄褐色(7.5YR5/8)の膜状斑富む，下層に黒褐色(10YR2/2)の糸状斑および暗黄褐色(10YR4/4, 4/6)の点状斑を含む，密度大，ねばり中，湿り湿。
- 70cm以下 暗灰褐色(2.5Y6/2,) 壤質砂土，黄褐色(7.5YR5/8)の管状斑，灰褐色(10YR4/2)の糸状斑あり，密度ねばりともに小，湿り湿。

院庄3統 (In3)

地点番号 1019

位置 津山市平福

傾斜 平坦 標高 110m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～12cm 灰褐色 2.5Y4/2, 埴壤土, 腐植含み, 細礫あり, 斑紋結核なし, 密度17, ねばり小, 湿り湿。
- 12～18.5cm 灰褐色(2.5Y5/2,)埴壤土, 上層4cm間は漂白す。柱状構造, 上層に暗黄褐色(2.5Y4/6)の糸根状斑あり, 下層に暗黄褐色(10YR4/6)の糸根状斑あり, 暗黄褐色(10YR5/8)の雲状斑含む, 密度23, ねばり小, 湿り湿。
- 18.5～25cm 暗灰褐色(2.5Y5.5/2)埴壤土, 漂白層, 柱状構造, 細孔隙含む, 暗黄褐色(10YR4/6)の糸根状斑含み, 黄褐色(10YR5/6)の雲状斑あり。密度26, ねばり小, 湿り湿。
- 25～40cm 暗灰褐色(10YR3.5/2,)埴壤土, 柱状構造, 暗褐色(10YR4/4, 3/4)の点状斑富み, 結核含む, 密度大, ねばり中, 湿り湿。
- 40cm以下 暗灰褐色(7.5YR3.5/2,)埴壤土, 黄褐色(7.5YR5/8)の管状斑あり, 紫色を帯びた暗褐色, 暗灰褐色(7.5YR3/2, 4/4, 4/6)の点状斑すこぶる富む, 密度大, ねばり中, 湿り多湿～潤, 湧水面87cm。

院庄4統(In4)

地点番号 1119

傾斜 平坦 標高 120m

断面記載

- 0～14cm 灰褐色(5Y5.5/2,)埴壤土, 腐植含む, 細礫含む, 暗黄褐色(10YR4/4,)黄褐色(7.5YR4/6)の膜状斑, および糸状又は脈状斑を含む, 密度16, ねばり中, 湿り湿。
- 14～23cm 灰褐色(5Y6/2,)微砂質埴壤土, 柱状構造, 細孔隙含む, 黄褐色(7.5YR5/8)暗褐色(10YR3/4)の糸根状斑富み, 明黄褐色(10YR6/8, 7.5YR5/8)の膜状斑含む, 密度23, ねばり中, 湿り湿。
- 23～55cm 暗灰褐色(2.5Y6/2,)微砂質埴壤土, 柱状構造, 細孔隙含む, 灰褐色(10YR4/2)の糸根状斑および赤褐色(5YR5/8)の管状斑を含み, 上層に粒状の3～5mm径の結核あり, 密度27, ねばり中, 湿り湿。
- 55cm以下 灰色 V. S. 6, 微砂質埴壤土, 細, 小, 大の円礫すこぶる富む, 暗黄褐色(10YR4/4,)赤褐色(5YR5/8)の脈状斑あり, 密度小, ねばり中, 湿り多

湿～潤，湧水面85cm。

院庄5統 (In5)

地点番号 1223

位置 真庭郡落合町河本

傾斜 平坦 標高 120m

土地利用 一毛作田

断面記載

- 0～12cm 灰褐色(2.5Y5/2,)壤土，腐植含む，細礫あり，暗黄褐色(10YR4/4)の膜状斑富む，密度11，ねばり小，湿り湿。
- 12～18cm 灰褐色(5Y4.5/2,)壤土，細礫あり，塊状構造，灰褐色(10YR4/2)の雲状斑あり，密度19，ねばり小，湿り湿。
- 18～37cm 灰褐色(5Y5/2,)壤土，細小礫あり，塊状構造，赤褐色(5YR3.5/6)の管状，脈状，糸根状斑あり，密度15，ねばり中，湿り湿。
- 37～46cm 灰褐色(5Y4/2,)壤土，細小礫あり，赤褐色(5YR4/6)の脈状斑富む，密度中，ねばり中，湿り湿。
- 46～62cm 帯青灰色(5Y4/2,)埴壤土，斑紋結核なし，密度，ねばりともに中，湿り多湿，グライ層。
- 62cm以下 帯青灰色(5Y4/2,)壤質砂土，細，大の円礫にすこぶる富む，斑紋結核なし，ねばりなし，湿り潤，グライ層，湧水面61cm。

河辺1統 (Ka1)

地点番号 1252

位置 久米郡久米町谷尻

傾斜 平坦 標高 120m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～12cm 灰褐色(2.5Y5/2,)軽埴土，細小礫あり，腐植含む，斑紋結核なし，密度16，ねばり中，湿り湿。

- 12～26cm 黄褐色(7.5YR5/8,)埴壤土, 細小礫あり, 暗黄褐色(7.5YR4/6)の糸状斑あり, 密度20, ねばり中, 湿り湿。
- 26～32cm 暗黄褐色(10YR4/3,) 微砂質壤土, 細小礫含む, 明黄褐色(7.5YR6/6)の糸状斑および結核あり, 密度21, ねばり中, 湿り湿。
- 32～46cm 灰褐色(2.5Y5/2,)砂壤土, 細, 小, 中の円礫すこぶる富む, 暗黄灰色(2.5Y5/8)の雲状斑富む, 密度, ねばりともに小, 湿り湿。
- 46cm以下 灰褐色(2.5Y5/2,)円礫および半角礫にすこぶる富む礫土, 斑紋結核なし, 湿り湿。

河辺2統 (Ka2)

地点番号 1138

位置 苫田郡鏡野町岡坊

傾斜 平坦 標高 125m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～13cm 灰褐色(2.5Y4/2,)埴壤土, 細小礫含む, 腐植含む, 斑紋結核なし, 密度17, ねばり小, 湿り湿。
- 13～23cm 暗黄褐色(10YR5/6,)壤土, 細小礫含む, 塊状構造, 細孔隙含む, 暗黄褐色(10YR4/6)の糸根状斑含む, 密度26, ねばり小, 湿り湿。
- 23～58cm 灰褐色(10YR5/2,)壤質砂土, 細, 中礫すこぶる富む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばりなし, 湿り湿。
- 78cm以下 暗灰黄褐色(10YR5/4,)礫土, 細, 中の角および円礫にすこぶる富む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばりなし, 湿り湿。

河辺2統 (Ka2)

地点番号 1219

位置 真庭郡落合町野川

傾斜 平坦 標高 120m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～12cm 暗灰褐色(10YR3/2,)埴壤土, 細小礫および腐植含む, 暗褐色(10YR3/4)の糸根状斑あり, 密度18, ねばり小, 湿り湿。
- 12～16cm 暗褐色(2.5Y3.5/2,)埴壤土, 細小礫および腐植含む, 暗黄褐色(7.5YR4/5)の糸根状斑含み, 暗黄褐色(7.5YR4/3)の点状斑すこぶる富む, 結核含む, 密度大, ねばり中, 湿り湿。
- 16～28cm 灰褐色(2.5Y4/2,)砂壤土, 細, 大礫すこぶる富む, 赤褐色(5YR5/6)の膜状斑あり, 結核あり, 密度, ねばりともに小, 湿り湿。
- 28～56cm 暗灰褐色(10YR3.5/4,)壤質砂土, 斑紋結核なし, 密度小, ねばりなし, 湿り湿。
- 56cm以下 暗灰褐色(10YR3.5/4,)砂壤土, 斑紋結核なし, 密度小, ねばりなし, 湿り湿。

河辺3統 (Ka3)

地点番号 1016

位置 津山市中島

傾斜 平坦 標高 110m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～10cm 暗灰褐色(2.5Y3.5/2,)砂壤土, 細礫含む, 腐植あり, 斑紋結核なし, 密度13, ねばり小, 湿り湿。
- 10～17cm 灰褐色(2.5Y4/2,)砂壤土, 細小礫含む, 暗赤褐色(7.5YR4/6)の糸根状斑あり, 密度19, ねばり小, 湿り湿。
- 17～26cm 暗黄褐色(10YR4.5/6,)砂壤土, 細小礫富む, 赤褐色(5YR4/8)の糸根状および点状斑あり, 密度20, ねばり小, 湿り湿。
- 26～68cm 暗灰褐色(10YR3.5/2,)砂壤土, 細小礫すこぶる富む, 細小孔隙含む, 暗褐色(7.5YR3/2)の糸根状斑あり, 不定形の結核と膜状斑に富む, 密度小, ねばりなし, 湿り湿。
- 68cm以下 暗灰褐色(7.5YR4/3,)砂礫土, 細, 小中礫すこぶる富む, 斑紋結核なし,

密度小，ねばりなし，湿り湿。

河辺3統 (Ka3)

地点番号 1129

位置 吉田郡鏡野町河原

傾斜 平坦 標高 125m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～10cm 灰褐色(2.5Y4/3,) 埴壤土，腐植含む，細礫あり，斑紋結核なし，密度10，ねばり中，湿り湿。
- 10～22cm 暗黄褐色(10YR5/6,) 壤土，細小孔隙含む，暗黄褐色(10YR4/6)の糸根状斑あり，密度17，ねばり小，湿り湿。
- 22～34cm 暗灰褐色(10YR4/4,) 砂壤土，暗褐色(10YR3/2)の糸根状斑および暗灰褐色(10YR3/3)の点状斑含む，密度20，ねばり小，湿り湿。
- 34～63cm 灰褐色(10YR4/3,) 壤土，細小孔隙含む，暗黄褐色(7.5YR3/4)の糸根状および点状斑含み，2～3mm径の結核あり，密度中，ねばり小，湿り湿。
- 63cm以下 灰褐色(10YR5/2,) 砂土ないし礫土，小大の円礫すこぶる含む，斑紋結核なし，密度小，ねばりなし，湿り湿。

河辺4統 (Ka4)

地点番号 1023

位置 津山市井ノ口の北

傾斜 平坦 標高 100m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～11cm 暗灰褐色(2.5Y3.5/2,) 砂壤土，腐植含む，斑紋結核なし，密度16，ねばり小，湿り湿。
- 11～20cm 灰褐色(2.5Y4/2,) 砂壤土，腐植含む，暗黄褐色(10YR4/6)の糸根状斑および暗黄褐色(10YR4/4)の膜状斑あり，密度20，ねばり小，湿り湿。

- 20～34cm 暗灰褐色 (10YR4.5/3,) 砂壤土, 暗黄褐色 (10YR4/6) の糸根状斑富む, 密度18, ねばり小, 湿り湿。
- 34～67cm 灰褐色 (2.5Y5/3,) 砂壤土, 暗黄褐色 (7.5YR4/5) の糸根状および点状斑含む, 密度小, ねばり小, 湿り湿。
- 67～81cm 暗灰褐色 (10YR4/3,) 砂土, 細礫富む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばりなし, 湿り湿。
- 81cm以下 灰褐色 (2.5Y6/3,) 砂礫土, 細礫頗る富む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばりなし, 湿り湿。

円宗寺 1 統 (E1)

地点番号 1121

位置 苫田郡鏡野町市場

傾斜 平坦 標高 160m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～12cm 暗灰褐色 (2.5Y3.5/2,) 壤土, 腐植含む, 斑紋結核なし, 密度12, ねばり小, 湿り湿。
- 12～17cm 灰褐色 (2.5Y4.5/4,) 埴壤土, 細礫含む, 暗黄褐色 (10YR4.5/5,) の糸状斑含む, 密度26, ねばり中, 湿り湿。
- 17～30cm 暗灰色 (10YR2.5/2,) 埴壤土, 腐植含む, 細, 中礫すこぶる富む, 暗赤褐色 (5YR3/6) の糸状斑および (7.5YR2/2) の雲状斑すこぶる富む, 密度小, ねばり中, 湿り湿。
- 30～66cm 暗灰色 (10YR2/2,) 壤土, 黒泥, 細, 中, 大礫すこぶる富む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばり中, 湿り湿。
- 66cm以下 暗灰褐色 (10YR3/3,) 埴壤土, 黒泥, 細, 中, 大礫すこぶる富む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばり中, 湿り湿。

円宗寺 2 統 (E2)

地点番号 1260

位置 久米郡久米町亀甲

傾斜 平坦 標高 180m

土地利用 一毛作田

断面記載

- 0～15cm 灰褐色(2.5Y5/2,) 埴壤土, 腐植含む, 角細礫含む, 黒褐色(7.5YR4/4)の膜状および脈状斑含む, 密度11, ねばり中, 湿り湿。
- 15～40cm 灰青色(10B4/2,) 埴壤土, 塊状構造, 角細礫含む, 暗黄灰色(2.5Y4/4)の糸状斑, 暗黄褐色(10YR5/6)の脈状および管状斑を含む, 密度20, ねばり中, 湿り湿。
- 40～57cm 灰色(V. S. 3,) 埴壤土, 塊状構造, 角細礫含む, 暗黄灰色(2.5Y4/4)の膜状および管状斑含む, 密度18, ねばり中, 湿り湿, この層以下グライ層にして黒泥含む。
- 57～73cm 暗灰色 V. S. 2, 砂質埴壤土, 細礫すこぶる含む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばり中, 湿り湿。
- 73～86cm 灰色 V. S. 3, 砂質埴壤土, 細礫含む, 斑紋結核なし, 密度小, ねばり小, 湿り多湿。
- 86cm以下 暗灰色 V. S. 2, 砂質埴壤土, 細礫すこぶる含む, 斑紋結核なし, 密度, ねばりともに小, 湿り潤, 湧水面 1 m。

円宗寺2統 (E2)

地点番号 1122

位置 苫田郡鏡野町公保田

傾斜 平坦 標高 155m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0～12cm 暗灰褐色(10YR3.5/2,) 埴壤土, 腐植含む, 細小孔隙含む, 暗褐色(10YR5/4)の脈状斑含む, 密度13, ねばり中, 湿り湿。
- 12～22cm 暗灰褐色(5Y4/2,) 埴壤土, 細小孔隙含む, 黄褐色(7.5YR5/8)の脈状斑あり, 暗黄灰色(2.5Y4/4)の糸状および雲状斑含む, 密度18, ねばり中, 湿

り湿。

- 22~37cm 暗灰褐色(10YR3/2,)微砂質埴壤土, 細小孔隙含む, 灰褐色(10YR5/3)の脈状斑富み, 暗黄褐色及び褐色(10YR4.5/4, 3/3)の糸状斑含む, 密度19, ねばり中, 湿り湿。
- 37~58cm 暗黒灰色(10YR2.5/2)埴壤土, 黒泥, 暗黄灰色(2.5Y4/4)の糸状斑あり, 密度中, ねばり中, 湿り多湿, 湧水面50cm, この層以下グライ層。
- 58cm以下 灰色(5Y5/2, 埴壤土,)暗黄灰色(2.5Y4/4)の糸状斑あり, 密度小, ねばり中, 湿り潤。

円宗寺3統(E3)

地点番号 1033

位置 津山市山西

傾斜 平坦 標高 125m

土地利用 二毛作田

断面記載

- 0~10cm 灰褐色(10YR4/2,)微砂質埴土, 腐植含む, 暗褐色(10YR3.5/4)の糸根状および膜状斑含む, 密度11, ねばり小, 湿り湿。
- 10~19cm 暗黄灰色(5Y4/2,)微砂質埴土, 腐植含む, 暗黄褐色(10YR4/6)と赤褐色(5YR4/8, 3/6)の糸根状斑含み, 暗黄褐色(10YR4/6)の膜状斑含む, 密度15, ねばり中, 湿り湿, 上層やムグライ化す。
- 19~51cm 暗灰褐色(7.5YR3.5/2,)軽埴土, 腐植含む, 暗褐色(7.5YR4/4)と赤褐色(5YR4/7)の糸根状斑含む, 密度21, ねばり中, 湿り湿。
- 51~70cm 黒褐色(5YR2/2,)微砂質埴壤土, 腐植含む(黒泥)斑紋結核不明瞭, 密度中, ねばり中, 湿り多湿。
- 70cm以下 黒灰色(V. S. 2,)微砂質埴壤土, 腐植富む(黒泥)斑紋結核不明瞭, 密度小, ねばり中, 湿り潤, 湧水面84cm, グライ層。

III. 3. 3. 代表地点土じ

III. 3. 3. 1. 山地、丘陵地域の土じよう

統	地点 番号	層 位	厚 さ cm	国 際 法					容積量 (風乾)	P H ₂ O
				粗砂	細砂	シルト	粘土	土性		
Y1	26	A	0~8	18.2	27.3	26.1	28.4	LC	75.4	4.2
		B	8~32	16.7	25.0	18.8	39.6	LC	83.0	4.4
Y2	107	A ₁	0~10	25.8	21.5	23.7	29.0	LC	70.2	5.2
		A ₂	10~22	23.5	21.6	25.5	29.4	LC	88.2	5.4
		B	22~70	26.7	23.3	21.1	28.9	LC	114.4	5.6
Y3	130	A ₁	0~25	38.2	20.2	13.5	28.1	SC	44.3	5.2
		A ₂	25~40	46.8	21.3	7.4	24.5	SCL	78.5	5.0
		B	40~60†	37.4	20.9	11.0	30.8	SC	80.9	5.3
Y3	97	A	0~18	28.0	17.2	25.8	29.0	LC	72.8	5.4
		B ₁	18~43	34.5	20.7	21.8	23.0	CL	103.9	5.4
		B ₂	43~75†	32.2	20.7	20.7	26.4	LC	102.4	5.4
Su1	6	A	0~3	42.1	25.3	15.8	16.8	SCL	70.1	4.8
		B	3~20	42.1	24.2	13.6	20.0	SCL	89.0	5.4
Su2	7	A	0~3	45.2	18.3	16.1	20.4	SCL	65.8	5.0
		B	23~51	49.0	20.8	14.6	15.6	SCL	68.8	5.0
Su3	41	A	0~12	46.0	13.8	6.9	33.3	SC	69.0	5.2
		B	12~45	33.3	18.8	21.9	26.0	LC	93.4	5.0
Mo1	403	B ₁	3~17	14.0	18.3	36.6	31.2	LC	78.5	4.9
		B ₂	17~65	15.8	18.9	32.6	32.6	LC	126.9	5.0
Mo2	392	A	0~9	33.7	15.3	25.5	25.5	LC	45.6	4.8
		B ₁	9~51	31.5	18.5	18.5	31.5	LC	66.4	5.2
		B ₂	51~†	31.3	17.7	20.8	30.2	LC	82.3	5.4
Mo3	365	A	0~40	35.9	15.2	23.9	25.0	LC	64.2	5.4
		B	40~90	47.9	17.9	16.9	17.7	SCL	76.9	5.6

よ う の 分 析 成 績

H KCl	置 換 度 置 換 酸 (Y ₁)	C %	N %	C/N	塩 基 置 換 容 量 m.e./100g	置 換 性		磷 酸 吸 収 係 数
						Ca m.e	Mg m.e	
3.2	78.0	4.89	0.27	18.1	29.7	0.9	0.4	1,136
3.6	36.9	1.72	0.08	21.5	20.3	1.0	0.1	995
3.8	15.3	3.18	0.29	10.9	18.0	2.4	1.0	488
3.8	13.8	1.81	0.20	9.0	17.7	1.3	0.7	294
3.8	23.3	0.99	0.14	7.1	15.6	0.8	0.6	568
4.6	1.0	5.11	0.33	15.5	24.2	16.9	1.7	954
4.6	0.9	1.54	0.16	9.6	12.0	5.0	1.0	608
4.4	2.3	1.90	0.13	14.6	17.7	4.5	1.0	914
4.8	6.6	3.57	0.32	11.2	19.1	9.7	1.6	525
4.2	4.8	1.25	0.16	7.8	7.9	2.9	1.2	666
4.0	11.9	1.05	0.12	8.8	15.3	1.8	0.9	646
4.2	5.5	2.59	0.13	19.9	10.7	2.1	0.6	840
4.2	7.8	2.14	0.10	21.4	9.4	1.3	0.4	790
3.9	18.5	2.51	0.20	12.6	20.0	0.9	0.6	1,157
4.1	12.0	2.18	0.10	21.8	13.9	1.0	1.4	945
4.4	2.0	5.07	0.30	16.9	19.6	6.6	1.1	938
4.2	8.2	1.74	0.13	13.4	11.3	0.5	0.3	1,099
3.6	48.5	2.77	0.14	19.8	25.8	0.2	0.1	528
3.7	41.5	0.87	0.04	21.8	23.7	0.4	0.3	396
3.9	14.8	4.39	0.38	11.6	26.8	1.0	0.6	570
3.9	13.3	2.34	0.21	11.1	21.2	0.3	0.1	601
4.0	12.0	1.44	0.13	11.1	22.7	0.2	0.1	549
4.0	6.0	3.53	0.36	9.8	18.4	4.5	4.5	526
3.8	27.8	0.70	0.09	7.8	18.3	2.3	2.0	729

統	地点 番号	層 位	厚 さ	国 際 法					容積量 (風乾)	P H ₂ O
				粗 砂	細 砂	シルト	粘 土	土 性		
Ki3	414	A	0~9	39.8	17.2	23.7	19.4	CL	70.7	5.0
		B	9~70	38.1	24.7	18.6	18.6	SCL	137.0	5.2
Sa1	390	B ₁	0~18	12.8	22.3	39.4	25.5	LC	98.0	5.1
		B ₂	18~59	6.3	10.4	21.9	61.5	LC	98.0	4.4
Sa3	423	A	0~8	19.1	21.3	33.7	25.8	LC	77.6	5.0
		B	8~42	25.8	21.3	43.8	9.0	SiL	94.8	4.8
K1a	245	B ₁	2~40	13.5	21.9	31.3	33.3	LC	127.7	5.4
		B ₂	40~70	13.5	17.7	30.2	38.5	LC	104.9	5.4
K1b	252	B ₁	4~34	12.0	17.4	38.0	32.6	LC	83.5	4.8
		B ₂	34~72	11.8	17.2	33.3	37.6	LC	115.6	4.0
K1c	195	A	0~4	30.4	17.6	29.4	22.5	LC	77.7	5.4
		B ₁	4~19	44.3	18.2	12.5	25.0	CL	102.9	5.4
		B ₂	19~65	18.1	16.0	30.9	35.1	SC	100.7	5.4
K2a	147	B ₁	2~20	18.1	36.2	23.4	22.3	LC	76.2	5.4
		B ₂	20~35	16.8	24.2	23.2	35.8	CL	119.0	4.8
K2b	316	A	0~4	16.5	20.9	26.4	36.3	LC	74.8	4.8
		B	4~35	15.6	21.9	25.0	37.5	LC	91.7	4.8
K2c	318	A	0~3	14.1	20.7	28.3	37.0	LC	77.2	5.0
		B	3~22	13.4	23.7	24.7	38.1	LC	115.7	5.2
Hu	314	A ₁		38.2	20.2	13.5	28.1	SC	44.3	5.2
		A ₂		46.8	21.3	7.4	24.5	SCL	78.5	5.0
		B		37.4	20.9	11.0	30.8	SC	80.9	5.3

H KCl	置 換 度 (Y ₁)	C %	N %	C/N	鹽 基 置換容量 m.e./100g	置 換 性		磷 吸 收 係 數
						Ca m.e	Mg m.e	
4.2	1.6	2.86	0.27	10.6	19.5	7.8	3.6	861
4.0	3.2	0.45	0.05	9.0	18.7	6.1	2.7	1,023
3.8	6.7	2.15	0.10	21.5	11.5	1.0	1.9	794
3.8	37.5	0.92	0.07	13.2	29.3	0.7	2.8	1,548
4.0	6.1	4.01	0.30	13.4	9.8	1.5	4.0	1,135
4.0	18.6	1.25	0.11	11.4	17.2	0.6	0.2	1,139
3.8	27.6	1.24	0.09	13.8	15.2	0	0.3	841
3.8	36.5	0.22	0.06	3.7	20.1	0	0.4	821
4.0	21.5	2.74	0.14	19.6	19.6	0	0.2	1,426
3.8	21.9	1.35	0.06	22.5	15.0	0	0.2	504
4.2	4.6	3.54	0.24	14.7	18.1	4.1	2.0	511
3.8	13.9	1.02	0.10	10.2	13.1	1.8	0.4	588
3.8	27.5	1.00	0.12	8.3	20.4	0	0.1	798
3.6	36.0	1.09	0.12	9.1	14.7	0	0.4	652
3.6	38.5	1.19	0.10	11.9	18.6	0	0.3	835
3.8	38.5	3.74	0.28	13.4	27.7	2.1	1.7	1,176
3.9	34.2	1.99	0.15	13.3	25.6	1.1	0.5	1,163
4.0	12.0	3.04	0.24	12.7	20.8	3.2	2.5	358
4.0	21.8	0.84	0.10	8.4	20.8	1.6	2.1	915
4.6	1.0	5.11	0.33	15.5	24.2	16.9	1.7	954
4.6	0.9	1.54	0.16	9.6	12.0	5.0	1.0	608
4.4	2.3	1.90	0.13	14.6	17.7	4.5	1.0	914

III. 3. 3. 2. 低地地域の土じょう

統	地点 番号	層 位	厚さ cm	礫	国 際 法				
					粗 砂	細 砂	シルト	粘 土	土 性
N1	1196	1	0~17	0	—	—	—	—	—
		2	17~25	0	81.6	7.1	7.7	3.6	LS
		3	25以下	0	91.1	3.8	2.9	2.3	S
N1	1509	1・2	0~25	0.2	38.4	32.2	15.3	23.8	SCL
		3	25~50	5.5	35.5	34.4	21.2	9.3	SL
N2	1133	1	0~11	0	10.9	22.5	33.9	32.7	LiC
		2	11~20	0	10.2	22.5	35.8	31.5	LiC
		3	20~28	0	10.3	24.5	37.7	27.6	LiC
N2	1210	1	0~12	0.5	7.1	34.2	32.2	26.5	LiC
		2	12~16	0	8.2	33.3	27.8	30.8	LiC
		3	16~76	0	3.3	32.1	37.5	27.1	LiC
N3	1139	1	0~13	0.7	7.6	31.5	44.8	16.2	CL
		2	13~23	1.1	9.3	28.2	48.1	14.4	SiL
		3	23~35	0	7.1	35.3	38.1	19.5	CL
N4	1132	1	0~12	0.7	6.1	25.9	26.1	41.9	LiC
		2	12~26	0.4	4.5	29.1	35.9	30.5	LiC
		3	26~37	0	7.6	25.5	51.3	15.6	SiCL
N4	1135	1	0~11	0	3.4	26.5	42.2	28.0	LiC
		3・4	16~31	—	—	—	—	—	—
Ku2	1102	1	0~13	1.4	12.7	19.2	44.3	23.9	CL
		2	13~17	2.2	12.8	17.2	39.2	30.5	LiC
		3	17~28	7.2	13.9	19.2	32.9	33.8	LiC
Ku3	1124	1	0~12.5	0	4.6	52.2	24.5	18.7	SCL
		2	12.5~16.5	0	2.5	50.2	41.5	5.8	L
		3	16.5~31	0.4	1.7	46.5	46.3	5.5	SiL
S1	1302	1	0~15	0	19.9	30.8	30.2	19.1	CL
		2	15~22	0	19.3	26.7	34.1	19.9	CL
		3	22~27	0	23.9	28.1	42.5	5.5	L
S2	1021	1	0~13	0.2	13.6	37.0	34.4	15.0	CL
		2	13~20	0	4.0	30.2	10.2	55.6	HC
		3	20~34	0	6.9	30.2	58.2	4.7	SiL
S2	1026	1	0~15	1.0	29.1	27.9	24.8	18.2	CL
		2	15~26	0.7	17.1	28.4	13.4	40.9	LiC
		3	26~43	0.5	28.2	8.4	57.5	5.8	SiL
S3	1126	1	0~10	1.2	20.7	29.5	30.5	19.3	CL
		2	10~23	2.1	18.0	28.9	28.1	25.0	LiC
		3	23~50	0.8	9.2	32.5	47.1	10.7	SiL
S4	1104	1	0~13	5.8	18.0	32.7	31.1	18.3	CL
		2	13~28	7.5	16.8	27.4	30.4	25.4	CL
		3	28~47	17.7	25.5	35.0	34.5	5.0	L
Ta1	1103	1	0~14	5.6	16.4	24.2	35.4	24.0	CL
			14~19	—	—	—	—	—	—
Ta1	1215	1	0~14	8.2	16.4	34.1	24.5	25.0	LiC
		2	14~18	7.7	15.4	27.4	36.7	20.5	CL
		3	18~30	12.4	16.4	23.3	30.4	30.2	LiC
		7	82以下	0	12.2	19.2	32.7	35.9	LiC
Ta2	1031	1	0~13	0.7	11.2	33.5	34.6	20.7	CL
		2	13~30	0.8	11.4	33.9	50.3	4.4	SiL
		3	30~50	0.3	13.1	33.4	23.5	30.0	LiC

容積量 (風乾)	pH		置換度 Y ₁	C %	N %	C/N	鹽基 置換容量 m.e./100g	置換性 Ca m.e	磷酸 吸收 係數
	H ₂ O	KCl							
88.0	5.18	4.86	0.82	5.68	0.50	11.4	20.7	8.9	758
—	6.02	5.76	0.28	0.92	0.07	13.2	10.0	4.2	656
—	—	—	0.27	0.32	0.05	6.2	5.2	3.3	662
85.5	6.64	4.46	2.25	5.47	0.34	16.1	17.3	5.6	649
100.5	4.86	4.68	2.94	3.62	0.21	17.2	9.7	3.0	577
86.0	4.80	4.78	1.57	4.55	0.31	14.7	24.7	8.5	1008
90.0	5.02	4.80	0.89	2.90	0.21	13.8	16.9	8.2	1212
84.5	5.22	4.76	0.91	3.24	0.16	20.3	24.0	6.6	1440
103.5	5.70	5.10	0.72	3.52	0.19	18.5	20.5	8.8	423
89.5	5.90	5.35	0.27	2.04	0.15	13.6	23.0	8.8	1228
—	5.82	5.02	0.72	1.68	0.15	11.2	21.8	9.6	1080
66.5	5.40	5.00	1.45	6.91	0.46	15.0	33.0	8.1	2127
—	5.60	5.02	1.17	7.10	0.43	16.5	42.6	8.3	2082
—	5.58	5.02	2.19	2.33	0.16	14.6	47.1	6.5	2052
83.0	5.34	5.02	0.69	3.36	0.32	10.5	23.6	11.0	1090
—	5.54	5.10	0.87	2.58	0.21	12.3	30.9	9.5	1319
—	5.45	5.00	2.01	0.35	0.03	11.7	—	—	1979
88.5	5.00	4.52	1.28	2.61	0.29	9.0	—	—	1022
—	6.26	—	0.17	6.14	0.33	18.6	—	—	—
91.0	5.42	4.98	1.05	3.26	0.30	10.9	14.4	6.6	542
100.5	5.36	4.60	0.69	2.68	0.22	12.2	14.0	6.7	624
—	5.62	5.10	0.27	0.99	0.10	9.9	9.7	5.1	737
96.0	5.08	4.62	2.32	2.10	0.19	11.0	13.2	8.1	413
105.0	5.64	4.98	0.38	0.87	0.06	14.5	13.9	9.6	762
—	5.84	5.26	0.22	0.65	0.07	9.3	15.7	11.1	872
101.0	4.20	4.04	2.80	2.22	0.15	14.8	13.5	9.2	552
—	4.62	4.58	1.47	1.31	0.10	13.1	11.2	8.9	624
—	5.40	5.08	0.32	0.94	0.08	11.8	10.4	8.8	558
98.5	4.26	4.16	5.82	1.84	0.16	11.6	10.5	7.0	442
—	5.06	4.94	0.68	0.88	0.09	9.8	11.5	9.9	583
—	5.68	5.18	0.32	0.53	0.07	7.6	12.7	11.9	222
—	4.46	4.28	3.54	2.31	0.18	12.8	12.7	8.9	590
—	5.40	5.04	5.20	0.57	0.08	7.1	10.6	9.0	543
—	5.96	5.40	0.20	0.78	0.05	15.6	12.2	9.5	684
92.5	5.14	4.62	2.19	2.33	0.25	9.3	15.7	10.4	690
—	5.96	5.23	0.22	1.13	0.10	11.3	14.3	10.2	674
—	6.00	5.61	0.15	0.82	0.07	11.7	18.0	11.3	266
96.5	5.20	5.12	1.09	2.87	0.32	9.0	13.4	7.8	479
—	5.78	5.00	0.46	0.87	0.09	9.7	9.2	6.6	590
—	6.06	5.20	0.20	0.79	0.07	11.3	8.5	7.1	571
89.0	5.16	4.40	2.15	3.97	0.38	10.5	—	—	436
—	5.42	—	1.05	1.26	0.14	9.0	—	—	—
88.5	5.38	4.75	2.05	2.68	0.27	9.9	13.3	6.0	—
101.0	5.75	4.80	1.15	1.65	0.17	9.7	11.7	7.3	631
102.0	5.82	5.20	0.34	1.60	0.13	12.3	15.9	10.9	847
85.0	5.24	4.42	6.79	0.55	0.05	11.0	22.5	5.9	1212
89.5	5.68	5.10	0.46	2.45	0.26	9.4	13.9	10.5	678
100.5	5.34	4.96	0.16	0.81	0.08	10.1	10.6	8.8	936
—	6.39	5.98	0.09	0.70	0.06	11.7	12.7	12.6	898

統	地点 番号	層 位	厚 さ cm	礫	国 際 法				
					粗 砂	細 砂	シルト	粘 土	土 性
Ta3	1013	1	0~10	0	5.3	17.8	39.7	37.2	LiC
		2	10~23	0	6.8	19.8	36.0	38.4	LiC
		3	23~40	0	8.0	16.5	48.8	26.7	SiC
In1	1005	1	0~14	0.5	16.2	39.3	24.6	19.9	CL
		2	14~37	0.3	19.8	37.6	21.0	21.6	CL
		3	37~55	0.6	35.5	38.7	15.3	10.5	SL
In2	1131	1	0~12	0.5	27.1	18.4	32.5	21.8	CL
		2	12~18	1.0	9.8	25.4	37.8	27.0	LiC
		3	18~38	1.8	16.4	24.1	50.2	9.3	SiL
In3	1019	1	0~12	4.8	14.5	36.6	33.5	15.3	CL
		2	12~19	3.2	7.8	46.1	29.8	16.3	CL
		3	19~25	0	12.4	44.0	22.8	20.8	CL
In4	1119	1	0~14	7.5	13.8	22.6	40.8	22.8	CL
		2	14~23	9.5	10.4	19.5	44.8	25.3	SiC
		3	23~55	4.7	10.8	30.9	48.3	10.0	SiL
Ka1	1252	1	0~12	4.5	8.9	25.6	36.2	29.3	LiC
		2	12~26	4.8	11.6	25.9	38.5	24.0	CL
		3	26~32	8.0	25.6	16.0	50.3	8.1	SiL
Ka2	1138	1	0~13	5.8	19.0	37.8	25.3	17.9	CL
		2	13~23	8.5	18.1	40.7	26.8	14.4	L
Ka2	1219	1	0~12	9.0	20.0	35.9	24.7	17.6	CL
		2	12~16	9.7	18.4	39.1	23.6	18.9	CL
		3	16~28	—	—	—	—	—	—
Ka3	1016	1	0~10	8.3	33.2	46.7	11.4	8.8	SL
		2	10~17	9.5	39.0	39.9	17.1	4.0	SL
		3	17~26	18.3	40.8	39.2	11.9	8.1	SL
Ka3	1129	1	0~10	3.5	18.1	39.0	25.2	17.7	CL
		2	10~22	1.3	29.3	38.5	18.0	14.2	L
		3	22~34	1.3	—	—	—	—	—
Ka4	1023	1	0~11	4.5	23.9	52.7	11.2	12.2	SL
		2	11~20	2.0	21.9	58.9	11.3	7.9	SL
		3	20~34	9.0	33.8	44.0	13.8	8.4	SL
E1	1121	1	0~12	1.3	39.3	15.6	30.8	14.3	L
		2	12~17	9.3	14.5	23.7	43.7	18.1	CL
		3	17~30	18.5	16.1	24.5	36.1	23.3	CL
		4	30~66	49.0	17.8	43.0	33.1	6.1	L
E2	1122	1	0~12	3.0	22.1	30.8	26.6	20.5	CL
		2	12~22	1.5	14.2	25.4	39.8	20.6	CL
		3	22~37	—	—	—	—	—	—
		4	37~58	0.4	12.3	30.6	35.0	22.1	CL
		5	58以下	0.4	11.0	41.7	35.3	7.7	L
E2	1260	1	0~15	6.0	27.2	22.4	27.9	22.5	CL
		2	15~40	11.5	33.5	21.2	25.6	20.7	CL
		3	40~57	5.5	36.8	24.1	21.9	17.5	CL
E3	1033	1	0~10	0	3.8	8.7	46.1	41.4	SiC
		2	10~19	0	6.1	14.6	50.5	28.3	SiC
		3	19~51	0	5.5	17.7	43.4	33.4	LiC

容積量 (風乾)	pH		置換度 (Y ₁)	C %	N %	C/N	鹽基 置換容量 m.c/ 100g	置換性 Ca m.e	磷 吸收 係	酸 取 數
	H ₂ O	KCl								
81.0	5.00	4.64	0.71	3.43	0.23	14.9	22.5	14.1	1093	
89.5	4.88	4.84	0.42	2.86	0.18	15.9	23.9	13.9	1039	
95.0	5.72	5.68	0.25	2.07	0.19	10.9	8.9	13.8	1045	
101.5	5.34	4.78	1.21	2.10	0.21	10.0	11.8	5.3	556	
92.0	6.12	5.25	0.29	1.16	0.14	8.3	15.5	8.7	983	
111.5	5.98	5.32	0.25	0.73	0.06	12.2	15.3	4.9	753	
98.5	4.98	4.75	1.63	2.58	0.30	8.6	16.1	8.5	917	
111.5	5.46	5.60	0.64	1.94	0.24	8.1	20.2	8.4	888	
115.0	6.22	5.38	0.16	0.78	0.08	9.8	14.7	7.1	528	
96.0	5.68	5.15	0.39	2.26	0.25	9.0	11.1	8.4	448	
105.0	6.36	5.78	0.11	0.71	0.08	8.9	8.0	7.2	527	
121.0	6.40	5.81	0.14	0.78	0.07	11.1	14.1	10.8	841	
85.5	5.42	4.76	4.16	2.20	0.28	7.9	13.3	6.0	746	
92.5	5.76	4.98	0.45	0.97	0.10	9.7	10.8	7.2	719	
110.5	5.68	5.00	0.52	1.11	0.10	11.1	12.1	7.1	762	
113.5	5.58	5.24	0.20	2.35	0.25	9.4	16.8	11.7	608	
100.5	5.64	5.10	0.25	1.57	0.13	12.1	15.0	8.8	410	
122.5	5.64	5.42	0.17	0.70	0.07	10.0	9.3	6.8	451	
106.5	5.26	5.02	0.44	2.46	0.24	10.3	8.3	9.9	331	
105.0	5.60	4.82	1.54	1.42	0.12	11.8	7.5	5.8	533	
105.0	5.80	5.30	0.77	2.28	0.22	10.4	14.6	9.7	588	
—	5.72	4.95	0.93	2.13	0.17	12.5	13.5	7.7	653	
—	5.95	5.00	0.36	0.59	0.06	9.8	10.6	8.2	615	
100.2	4.86	4.42	5.17	0.90	0.12	7.5	8.1	3.8	150	
101.5	4.98	4.50	4.50	1.10	0.12	9.2	7.3	7.1	450	
101.0	5.08	4.58	2.94	0.38	0.03	12.6	6.4	3.5	307	
106.0	5.60	5.55	0.23	2.07	0.21	9.9	12.6	11.0	407	
—	5.88	4.95	0.85	0.52	0.06	8.7	8.8	6.0	407	
—	5.50	5.03	0.63	0.41	0.05	8.2	6.3	3.7	197	
99.0	5.00	4.58	3.03	1.68	0.15	11.2	8.3	5.8	415	
103.0	5.20	5.00	3.63	1.90	0.16	11.9	—	—	350	
136.0	5.62	4.95	0.63	0.50	0.03	16.7	—	—	232	
94.5	5.20	4.82	2.72	2.58	0.25	10.3	14.0	8.6	301	
—	5.60	5.00	1.27	1.45	0.14	10.4	12.8	8.9	690	
86.5	5.80	5.15	0.72	3.26	0.22	14.8	22.3	14.6	1297	
—	5.20	4.62	1.30	0.36	—	—	—	—	—	
66.5	4.96	4.84	1.50	3.25	0.27	12.1	13.6	6.8	653	
82.0	5.40	5.20	1.20	1.78	0.11	16.2	12.8	8.8	662	
84.5	4.60	4.28	1.25	2.27	0.13	17.5	13.8	10.2	674	
94.0	5.14	5.02	0.33	1.86	—	—	17.5	13.3	696	
81.0	—	—	0.66	3.48	—	—	9.8	7.0	451	
89.0	5.36	4.78	2.66	2.06	0.15	13.7	12.9	9.1	653	
—	5.46	4.80	1.29	0.78	0.06	13.0	10.2	7.8	543	
—	5.24	4.40	2.32	1.18	0.08	14.8	11.7	6.2	596	
79.5	5.08	4.88	0.79	2.88	0.27	10.7	23.6	9.0	945	
86.0	5.12	4.92	0.28	2.10	0.18	11.7	19.0	8.5	920	
89.0	5.30	5.10	0.35	2.16	0.19	11.4	20.2	9.4	989	

資料及び統計書

1. 岡山市市町村勢要覧 昭和35年 岡山県統計協会
2. 昭和9年風水害誌 昭和10年 岡山県
3. 〃 台風被害調査 昭和11年 大阪営林局
4. 岡山県気象台10ヶ年統計 昭和35年 気象同好会
5. 農業図説 昭和29年 岡山県
6. 岡山県林野土壤報告書 4. 5. 6号 昭和33. 34. 35年 岡山県林業試験場
7. 岡山県(1954) : 岡山県農業図説
8. 岡山県(1959) : 岡山県統計年報
9. 岡山県立農事試験場(1915~16) : 酸性土壤調査成績 (第1, 2報)
10. 岡山県立農事試験場(1939~1940) : 業努功程
11. 岡山県立農事試験場(1939) : 施肥標準調査成績第2報 (勝田郡・久米郡)
12. 岡山県立農事試験場(1941) : 施肥標準調査成績第3報 (津山市・苫田郡)
13. 小林貞一(1950) : 中国地方 (日本地方地質誌)
14. 農林省農業改良局研究部(1955) : 土壤調査法, 施肥改善資料第7号
15. 農林省農業改良局研究部(1955) : 土壤分析法, 施肥改善資料第8号
16. 岡山県立農業試験場(1955) : 土地改良完了地区土壤調査成績 (津山, 落合, 久世地区を含む)
17. 日本農業研究所(1958) : 水田土壤の生産力別分業に関する研究
18. 農林省振興局農産課(1960) : 地力保全対策資料第4号

あ と が き

1. 本調査は、経済企画庁が岡山県に委託して行つたもので、その事業主体は国土調査法第2条第1項に基づき、経済企画庁である。
2. 本調査成果は、国土調査法施行令第2条第1項第4号の2の規定による土地分類調査図及び、土地分類調査簿である。
3. 調査にあたり、基準とした作業規程準則は下記の通りである。

地形調査作業規程準則（昭和29年7月2日）
（総理府令第50号）

表層地質調査作業規程準則（昭和29年8月21日）
（総理府令第65号）

土じょう調査作業規程準則（昭和31年1月29日）
（総理府令第3号）

4. 調査の実施、成果の作成関係者は下記の通りである。

総合企画 調整、編集	経済企画庁総合開発局	技 官	千 秋 鉄 助
〃	〃	〃	武 久 義 彦
企画、連絡	岡山県企画調査室	技 師	平 松 明
〃	〃	主 事	高 瀬 貴 彦
地形調査	建設省国土地理院	技 官	武 久 義 彦
〃	〃	〃	斉 藤 祥
〃	広島大学文学部	地理学教室	桑 代 勲
表層地質調査	岡山大学理学部	教 官	光 野 千 春
〃	広島大学教養部	〃	多 井 義 郎
〃	岡山県商工部工業課	技 師	大 森 尚 泰
土じょう調査	農林省林業試験場	技 官	竹 原 秀 雄
〃	〃 農業技術研究所	〃	小 山 正 忠
〃	岡山県林業試験場	技 師	田 村 甲 二
〃	〃	〃	上 野 善 弘
〃	〃	〃	政 久 弘 美
〃	〃	〃	寺 坂 富 喜 雄

土じよう調査	岡山県林業試験場	技師	藤井良知
〃	岡山県農業試験場	〃	久保田収治
〃	〃	〃	大森正
〃	〃	〃	斉藤英照
〃	〃	〃	小野芳郎

1962年 印刷発行

土地分類基本調査

地形・表層地質・土じょう調査

津山西部

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 国土地図株式会社

東京都千代田区富士見町2～8